平成 29 年度事業報告書

学校法人 湘南ふれあい学園

平成29年4月1日

理念

平成29年度 湘南医療大学の目指す教育

その考えのもとに保健・医療・福祉・教育を担当しそして、社会へ奉仕する事をめざすものです。 わたしたちは、すべての人々のしあわせに、今、役立ちたいと願っています。 1やさしさと思いやりのある保健・医療・福祉・教育の実践

いのち

2生命を全うしていただくための知識・技術の習得 3その人らしさと個別性を尊重し敬愛す わたしたちは、理念の実践者になります。

保健医療学部のめざす教育

- 1. 保健医療学部は、保健医療に関する高度な専門知識と技術を教育する。
- 保健医療学部は、他職種と連係し、チーム医療を推進する事により、 人々の多様なニーズに適切に応えることのできる豊かな人間性を備えた人材を養成する。
- 3. 保健医療学部は、主体的に行動し、社会の変化に対応し、 地域社会に貢献するための研究活動ができる人材を養成する。

事業計画の基本方針

- 1. 私たちは、PDC活動により学校経営に全職員が参画し、さらなる発展を目指します
- 2. 私たちは、学生に最適な教育サービスをタイムリーに提供します
- 3. 私たちは、やさしさ、おもいやりと気配りのある態度で仕事をします

全職員参加活動の5項目

- 1. PDC活動
- 2. 業務改善(教育課程・シラバス・学生便覧・教授方法)
- 3. 全体研修会(FD活動·SD活動)
- 4. 朝礼の五訓 (全体朝礼と毎日の朝礼)
- 5. 6S活動

全部門の整備・充実

- Ⅰ-1. 理念の実践
 - ・学生も教員も、理念の実践者となる。
 - 2. ディプロマポリシーに沿った教育の実践
 - ・湘南医療大学のディプロマポリシー
 - ①看護及びリハビリテーションの専門職として高度な知識と技術を身に着け、実践することができる。
 - ②科学的根拠に基づき主体的に行動することにより問題解決に向けて実践することができる。
 - ③相手を尊重し、他者とのコミュニケーションを通じて良好な関係を築いて発展させることができる。
 - ④保健・医療・福祉・教育・産業等各界の関連職種と連係し、人々の健康に寄与することができる。 ⑤幅広い教養と高い倫理観をもち、クライアント中心の医療を主体的に提供することにより地域社会 に貢献することができる。
 - 3. カリキュラムポリシーに沿った教育の実践と計画
 - ①教育理念の醸成、倫理的感性の涵養、豊かな人間性、健康、人間と社会、学際的思考を学ぶ科目
 - ②専門基礎、医学を修得する科目
 - ③専門的な知識・技術を修得する科目
 - ④実践的、応用力を養う科目

4. アドミッションポリシーに沿った入学者の選抜 【看護学科】

- ①入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- ②人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
- ③保健・看護に対する意欲や関心が高く、この分野に 貢献したいという目的意識と情熱を持っている。
- ④入学後も生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある幅広い人間性、協調性と柔軟性を持ち、周囲の人々と良好な関係を保つことができる。
- ⑤自分の行動や考えに責任を持つことができる。

5. 研究活動

- ・教員は、大学のミッションを考えた研究活動をする。
- Ⅱ. 私立大学等改革総合支援事業の配点の評価
- Ⅲ. チーム医療の推進
- Ⅳ. 安全管理体制

【リハビリテーション学科】

- ①思いやりと敬意をもって他者と接することができる。
- ②保健・医療・福祉・教育・研究に対する意欲や関心が高く、 この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。
- ③知的好奇心と創造性に富み、主体的、継続的に勉学する 姿勢を持っている。
- ④積極的に課題を探求し、問題解決のために前向きに努力 する
- ⑤自らの行動や考えに責任を持ち、物事に真摯に取り組める。

平成29年度 茅ヶ崎看護専門学校の目指す教育

平成29年4月1日

理

「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」 その考えのもとに保健・医療・福祉・教育を担当しそして、社会へ奉仕する事をめざすものです。 わたしたちは、すべての人々のしあわせに、今、役立ちたいと願っています。 1やさしさと思いやりのある保健・医療・福祉・教育の実践

2生命を全うしていただくための知識・技術の習得 3その人らしさと個別性を尊重し敬愛す わたしたちは、理念の実践者になります。

本校のめざす教育

- 1. やさしさと思いやりの心をもち、相手の気持ちや痛みに寄り添うことができる
- 2. 医療の知識と技術に基づいた援助ができる
- 3. 専門職業人として、生涯、看護の向上を目指し学修する態度をもつ

事業計画の基本方針

- 1. 私たちは、PDC活動により学校経営に全職員が参画し、さらなる発展を目指します
- 2. 私たちは、学生に最適な教育サービスをタイムリーに提供します
- 3. 私たちは、やさしさ、おもいやりと気配りのある態度で仕事をします

全職員参加活動の5項目

- 1. PDC活動
- 2. 業務改善(教育課程・シラバス・学生便覧・教授方法)
- 3. 全体研修会(FD活動·SD活動)
- 4. 朝礼の五訓(全体朝礼と毎日の朝礼)
- 5. 6S活動

全部門の整備・充実

- Iー1. 理念の実践
 - 学生も教職員も、理念の実践者となる。
- 2. 卒業認定・専門士(専門士)授与の方針
- ①修業年限以上在籍し、看護学科所定の単位数を修得するとともに、ふれあいグループの理念、職業倫理に則った 思いやりをもち、尊厳するべき統合された生活体として対象をとらえることができ、対象の持つ様々な思いや痛みに 寄り添い、安寧な生活が送れるよう科学的な根拠に基づいた援助の実践を身につけた学生に対して卒業を認定する。 ②専門士の称号を授与する。
- 3. 看護師国家試験 合格のための取り組み
- 看護師国家試験の合格を期するために以下の取り組みを実施する。
- ①1年次から計画的な国家試験対策を実施することで、学習習慣を身につける。
- ②必修問題、一般状況問題の対策を開始し、知識の定着を図る。
- ③毎月複数回の過去問や模試を実施し、どんな問題が出題されても怯まない知識力・精神力を身につける。
- ④不安なこと、わからないことを次に残さないよう、個人面談、学年縦割り制度を利用した手厚い学生サポート体制を 整える。
- 4. 入学者選抜

看護学を真摯に学び、専門職業人としての資質を修得する学修者としての素養を持ち、国家試験に合格すること、 またふれあいグループに就職し看護職としてふれあいグループにおける活躍を目標とした基礎的能力を持つ人

自己点検·評価

本校は、教育の質の向上に努めるために、理念・目標に照らして自らの教育活動の状況について自己点検し、 優れている点や改善をする点等自己評価を行う。

Ш チーム医療 IV 安全管理体制

平成29年度

茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の目指す教育

平成29年4月1日

理 念

<mark>─人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」</mark> その考えのもとに保健・医療・福祉・教育を担当しそして、社会へ奉仕する事をめざすものです。 わたしたちは、すべての人々のしあわせに、今、役立ちたいと願っています。 1やさしさと思いやりのある保健・医療・福祉・教育の実践

いのち

2生命を全うしていただくための知識・技術の習得 3その人らしさと個別性を尊重し敬愛す わたしたちは、理念の実践者になります。

本校のめざす教育

- 1.すべての人間に対して深い愛情と思いやりをもち、調和のとれた社会人としての成長を図る
- 2. 医療・福祉の対象である人間や地域社会を総合的に捉え、対象に応じた対応を主体的に 実践する能力を養う
- 3. 変動する社会情勢を認識し、乳幼児から高齢者まで幅広い医療に対応できる能力を養う
- 4. 社会制度の中で、専門職として果たすべき役割を考え、その役割を遂行する基礎的な 能力を養う
- 5. 知識・技術の向上を目指す研究的態度を養う

事業計画の基本方針

- 「1. 私たちは、PDC活動により学校経営に全職員が参画し、さらなる発展を目指します
- 2. 私たちは、学生に最適な教育サービスをタイムリーに提供します
- 3. 私たちは、やさしさ、おもいやりと気配りのある態度で仕事をします

全職員参加活動の5項目

- 1. PDC活動
- 2. 業務改善(教育課程・シラバス・学生便覧・教授方法)
- 3. 全体研修会(FD活動·SD活動)
- 4. 朝礼の五訓(全体朝礼と毎日の朝礼)
- 5. 6S活動

全部門の整備・充実

I-1. 理念の実践

学生も教職員も、理念の実践者となる。

- 2. 卒業認定・高度専門士(専門士)授与の方針
- ①修業年限以上在籍し、各学科所定の単位数を修得するとともに、セラピストとしての素養を身につけた学生に対して 卒業を設定する。
- ②理学療法・作業療法学科では4年制課程であり、総教育時間が3800時間以上であることから、高度専門士として の称号も授与する。但し、言語聴覚学科は2年制課程のため、専門士の称号を授与する。
- 3. カリキュラムポリシー
- ①理学・作業療法士養成校設置基準及び言語聴覚士養成校設置基準に倣い、各セラピストに求められる必要な医療 知識・技術を学ぶ
- ②学んだ知識・技術を集約させ、臨床実習に役立て、即戦力となるセラピストを目指す。

4. 入学者選抜

- ①医療職として働く強い覚悟を持つとともに、目標に向かって学んでいく意欲がある人
- ②課題解決に向けて、個人だけでなく、他者から意見を踏まえて、考えをまとめる力のある人
- ③基本的生活習慣や学習習慣が身についている人
- ④ふれあいグループでセラピストとして活躍する意志のある人

Π 自己点検·評価

本校は、教育の質の向上に努めるために、理念・目標に照らして自らの教育活動の状況について自己点検し、 優れている点や改善をする点等自己評価を行う。

Ш チーム医療

安全管理体制 IV

平成29年度 下田看護専門学校の目指す教育

平成29年4月1日

理 念

「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」 その考えのもとに保健・医療・福祉・教育を担当しそして、社会へ奉仕する事をめざすものです。 わたしたちは、すべての人々のしあわせに、今、役立ちたいと願っています。 1やさしさと思いやりのある保健・医療・福祉・教育の実践

いのち 2生命を全うしていただくための知識・技術の習得 3その人らしさと個別性を尊重し敬愛す わたしたちは、理念の実践者になります。

本校のめざす教育

- 1. やさしさと思いやりの心をもち、相手の気持ちや痛みに寄り添うことができる
- 2. 医療の知識と技術に基づいた援助ができる
- 3. 専門職業人として、生涯、看護の向上を目指し学び続ける態度をもつ

事業計画の基本方針

- 1. 私たちは、PDC活動により学校経営に全職員が参画し、さらなる発展を目指します
- 2. 私たちは、学生に最適な教育サービスをタイムリーに提供します
- 3. 私たちは、やさしさ、おもいやりと気配りのある態度で仕事をします

全職員参加活動の5項目

- 1. PDC活動
- 2. 業務改善(教育課程・シラバス・学生便覧・教授方法)
- 3. 全体研修会(FD活動·SD活動)
- 4. 朝礼の五訓(全体朝礼と毎日の朝礼)
- 5. 6S活動

全部門の整備・充実

Ⅱ -1. 理念の実践

学生も教職員も、理念の実践者となる。

- 2. 卒業認定・専門士(専門士)授与の方針
- ①修業年限以上在籍し、看護学科所定の単位数を修得するとともに、ふれあいグループの理念を基に、人間 および生命を尊重できる豊かな人間性を養い、英知と実践力を備えた看護の専門職業人としての素養を 身につけた学生に対して卒業を認定する。
- ②専門士の称号を授与する。
- 3. 看護師国家試験 合格のための取り組み

看護師国家試験の合格を期するために以下の取り組みを実施する。

- ①入学直後は基礎計算、漢字等基礎学力固めの小テストを実施して、学習習慣を身につける。 また1年次より解剖学を中心に国家試験対策、低学年模試を実施する。
- ②必修問題、一般状況問題の対策を開始し、知識の定着を図る。
- ③毎月複数回の過去問や模試を実施し、どんな問題が出題されても怯まない知識力・精神力を身につける。
- ④近年出題が増えている社会情勢(国家試験に出題が予想される)の情報を新聞等から取り出し、小テストを作成し、
- ⑤不安なこと、わからないことを次に残さないよう、個人面談、学年縦割り制度を利用した手厚い学生サポート体制を 整える。
- 4. 入学者選抜

看護学を真摯に学び、専門職業人としての資質を修得する学修者としての素養を持ち、国家試験に合格することを ひとつの目標とした基礎的な能力を持つ人

Π 自己点検·評価

本校は、教育の質の向上に努めるために、理念・目標に照らして自らの教育活動の状況について自己点検し、 優れている点や改善をする点等自己評価を行う。

Ш チーム医療 IV 安全管理体制

平成29年度 医療ビジネス観光情報専門学校の目指す教育

平成29年4月1日

理 念

「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」 その考えのもとに保健・医療・福祉・教育を担当しそして、社会へ奉仕する事をめざすものです。 わたしたちは、すべての人々のしあわせに、今、役立ちたいと願っています。 1やさしさと思いやりのある保健・医療・福祉・教育の実践

2生命を全うしていただくための知識・技術の習得 3その人らしさと個別性を尊重し敬愛す わたしたちは、理念の実践者になります。

本校のめざす教育

学校教育法及び私立学校法の規程に基づき、医療、観光に関わるビジネス並びに情報技術に 関する専門知識及び技術を習得させ、社会人として必要な教養の向上を図り、地域社会に貢献し 得る有能な人材を育成することを目的とする。

事業計画の基本方針

- 1. 私たちは、PDC活動により学校経営に全職員が参画し、さらなる発展を目指します
- 2. 私たちは、学生に最適な教育サービスをタイムリーに提供します
- 3. 私たちは、やさしさ、おもいやりと気配りのある態度で仕事をします

全職員参加活動の5項目

- 1. PDC活動
- 2. 業務改善(教育課程・シラバス・学生便覧・教授方法)
- 3. 全体研修会(FD活動·SD活動)
- 4. 朝礼の五訓(全体朝礼と毎日の朝礼)
- 5. 6S活動

全部門の整備・充実

Ⅰ −1. 理念の実践

学生も教職員も、理念の実践者となる。

- 2. 卒業認定・専門士授与の方針
- ・修業年限以上在籍し、各学科所定の単位数を修得するとともに、医療・観光・情報のスペシャリストとしての素養を 身につけた学生に対して卒業を認定し、専門士としての称号も授与する。
- 3. カリキュラムポリシー
- ・専修学校設置基準に倣い、各専門職に求められる必要な知識・技術を学ぶ
- 学んだ知識・技術を実習などの実践に役立て、即戦力となる専門職技術者を目指す。
- ・キャリア教育により社会人としてのメンタリティを強化する。
- ・国家試験、検定試験等、多くの資格を取得する。

4. 入学者選抜

- ・最後まで粘り強く、学習に励み、必ず卒業するという覚悟を持つ人
- 目標に向かって学んでいく意欲がある人
- ・他者と協力して、課題を解決することが出来る人
- -基本的生活習慣が身についている人
- ・グループに貢献する意欲がある人

自己点検·評価

本校は、教育の質の向上に努めるために、理念・目標に照らして自らの教育活動の状況について自己点検し、 優れている点や改善をする点等自己評価を行う。

Ш チーム医療 IV 安全管理体制

平成29年度

幼保連携型認定こども園みどり幼稚園の目指す教育

玾

「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」 その考えのもとに保健・医療・福祉・教育を担当しそして、社会へ奉仕する事をめざすものです。 わたしたちは、すべての人々のしあわせに、今、役立ちたいと願っています。 1やさしさと思いやりのある保健・医療・福祉・教育の実践

2生命を全うしていただくための知識・技術の習得3その人らしさと個別性を尊重し敬愛すわたしたちは、理念の実践者になります。

本園のめざす教育

幼保連携型認定こども園みどり幼稚園の保育・教育目標

- 1. 丈夫な体を持つ子に
- 2. 正しい考えや行動が出来る子に
- 3. 自発性の高い子に
- 4. 創造力の豊かな子に
- 5. 基本的な生活習慣の自立

事業計画の基本方針

- 1. 私たちは、PDC活動により学校経営に全職員が参画し、さらなる発展を目指します
- 2. 私たちは、園児に最適な教育サービスをタイムリーに提供します
- 3. 私たちは、やさしさ、おもいやりと気配りのある態度で仕事をします

全職員参加活動の5項目

- 1. PDC活動
- 2. 業務改善
- 3. 全体研修会(FD活動·SD活動)
- 4. 朝礼の五訓(全体朝礼と毎日の朝礼)
- 5. 6S活動

全部門の整備・充実

- Ⅰ-1 理念の実践
 - 理念に基づき、幼保連携型認定こども園の教育方針を踏まえた保育活動、行事を実践し、充実させる。
 - 2 教育の実践
 - ・健康 [健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う]
 - ・人間関係 [他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う]
 - ・環境 [周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持ってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う]
 - ・言葉「経験したことや考えたことなどを自分なりに言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、 言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う
 - 表現 [感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を 豊かにする]
 - 3 関児受け入れの方針
 - ・明るく、元気な子ども
 - ・基本的生活習慣が身についている子ども(挨拶・食事・排泄など)
 - ・本園の教育方針を保護者が理解し(関わりが困難な子供を含め)、保育活動や行事などに協力が可能であること。
 - 4 グループとの連携活動
 - 幼・保育部会で、グループ内保育園の職員との連携を深める。
 - ・教職員は自己研鑽し、保育指導に活かす。
 - ・ふれあいグループの各校、施設と連携し、実習生の受け入れ、子育て支援活動、及びボランティア活動に協力する。
 - 5 安全管理体制
 - ・危機管理対策として避難訓練を継続的に行い、 非常時に対応できるよう日頃から危機管理を意識し、園児の安全 を確保する。

I 学校法人湘南ふれあい学園の概要

■ 建学の理念「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」

■ 法人及び設置校の沿革

年 月		沿革								
平成6年	1月	準学校法人 湘南ふれあい学園設置								
	4月	茅ヶ崎看護福祉専門学校創立								
平成 10 年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校創立								
平成 12 年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校社会福祉専攻科設置								
平成 13 年	1月	学校法人横浜アカデミーより2幼稚園、2専門学校、1予備校を継承 湘南ふれあい学園を準学校法人から学校法人へ変更								
平成 14 年	4月	専門学校横浜外語ビジネスアカデミー日本語研修科設置								
平成 16 年	4月	下田看護専門学校創立 専門学校横浜外語ビジネスアカデミー美容学科・診療情報管理学科・臨床工学学科設 置								
平成 17 年	4月	専門学校横浜外語ビジネスアカデミーをふれあい横浜専門学校に校名変更								
平成 18 年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校社会福祉学科を精神社会福祉学科へ名称変更 ふれあい横浜専門学校 美容学科入学定員変更 総合電子専門学校 学科再編(設置及び変更)								
平成 20 年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 理学療法学科入学定員変更								
平成 21 年	4月	総合電子専門学校 学科再編(名称変更等)								
平成 22 年	4月	茅ヶ崎看護福祉専門学校を茅ヶ崎看護専門学校に校名変更及び看護学科入学定員変 更								
平成 23 年	4月	ふれあい横浜専門学校 観光学科入学定員変更 総合電子専門学校 研究科設置								
平成 24 年	4月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 言語聴覚学科(2年制)設置及び作業療法学科 入学定員変更 総合電子専門学校 医療マネジメント科設置及び情報デザイン科入学定員変更								
	6月	湘南医療大学(仮称)大学設立準備室設置								
平成 26 年	3月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 南湖校舎移転 湘南医療大学(仮称)設置認可申請書提出								
	4月	学校法人湘南ふれあい学園本部事務所移転 総合電子専門学校を医療ビジネス観光情報専門学校に校名変更及び学科再編								
	10月	湘南医療大学 設置認可 学校法人湘南ふれあい学園寄附行為変更認可								
平成 27 年	4月	湘南医療大学開学 学校法人湘南ふれあい学園本部事務所移転								
平成 28 年	3月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校介護福祉士実務者研修設置								
平成 29 年	2月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校介護福祉士実務者研修 年間定員を30名→60名に変更								
	4月	みどり幼稚園を幼保連携型認定こども園みどり幼稚園に改組								
平成 30 年	2月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校介護福祉士実務者研修 年間定員を60名→90名に変更								

■ 設置する学校等の概要

【設置する学校】(平成29年5月1日現在)

学校名	学部	・学科・専攻等(入学定員)	開設年度
湘南医療大学神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16番 48号	保健医療学部	看護学科 (80) リハビリテーション学科 (理学療法学専攻) (40) リハビリテーション学科 (作業療法学専攻) (40)	平成 27 年度
茅ヶ崎看護専門学校 神奈川県茅ヶ崎市今宿 390 番地	看護学科	(80)	平成6年度
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 神奈川県茅ヶ崎市南湖1丁目6番11号	作業療法	学科 (70) 学科 (30) 学科 (35) 有 社会福祉専攻科 (80) 介護福祉士実務者研修 (30)	平成 10 年度
下田看護専門学校 静岡県下田市柿崎 289 番地	看護学科	(40)	平成 16 年度
医療ビジネス観光情報専門学校 神奈川県相模原市南区上鶴間本町 3 丁目 18 番 27 号	観光学科	ネス学科 (40) (40) テム学科 (40)	昭和 61 年度
幼保連携型認定こども園 みどり幼稚園 神奈川県横浜市戸塚区汲沢 2 丁目 26 番 14 号	認定こど	も園(218)	平成 29 年度

【設置する学校等の在籍者数】(平成29年5月1日現在)

[湘南医療大学]

		入学	編入学	入学者	3	平成 29 年度			
		定員	定員	数	1年生	2年生	3 年生	4年生	卒業生
保健	看護学科	80	10	102	102	80	97	_	_
医療学部	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻)	40	0	46	46	42	41	_	_
→ th	リハビリテーション学科 (作業療法学専攻)	40	0	42	42	41	39	_	_

[茅ヶ崎看護専門学校]

	入学定員	入学者数	平局	平成 29 年度			
	71,700		1年生	2年生	3 年生	卒業生	
看護学科	80	80	81	83	80	76	

[茅ヶ崎リハビリテーション専門学校]

	入学定員	入学者数			平成 29 年度		
	八八元兵	711 6 90	1年生	2 年生	3 年生	4年生	卒業生
理学療法学科	70	71	76	77	68	57	55
作業療法学科	30	28	29	21	18	14	13
言語聴覚学科	35	37	39	28			26
社会福祉専攻科*1	80	62	62	57			48
介護福祉士実務者研修※2	30	28	28				47

※1 社会福祉専攻科は1年9ヶ月の通信課程

※2介護福祉士実務者研修は6ヶ月の通信課程(年2回開講)

[下田看護専門学校]

	入学定員	入学者数	平反	平成 29 年度			
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , ,	1年生	2年生	3年生	卒業生	
看護学科	40	40	40	39	38	31	

[医療ビジネス観光情報専門学校]

	入学定員	入学者数	平成 29 年	平成 29 年度		
	/17/CA	/ 1 1 3/	1年生	2年生	卒業生	
医療ビジネス学科	20	32	32	9	8	
観光学科	40	77	77	57	55	
情報システム学科	40	_	_	42	39	

[幼保連携型認定こども園みどり幼稚園]

	定員	入園者数		平成 29 年度				
	,C.S.	/ \L	1歳児	2 歳児	年少	年中	年長	卒園生
年少								
年中	200	73	8	10	54	67	66	65
年長								

【設置する学校等の教職員数】

教職員数(平成29年5月1日現在)

学校名	教	員	職員※2	
子权右	専任**1	兼任	₩貝***	
湘南医療大学	52	106	16	
茅ヶ崎看護専門学校	20	70	6	
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	21	56	10	
下田看護専門学校	11	35	5	
医療ビジネス観光情報専門学校	9	32	4	
幼保連携型認定こども園みどり幼稚園	15	10	4	
本部事務局	2	研修センター 37	9	

※1 専任には、非常勤契約者を含む

※2 非常勤職員含む

教員内訳

[湘南医療大学]

学部	学科・専攻		教	授	准载	效授	講	:師	助	教	助	手	書	+
子前	子件。只	子仪	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健	看護学科		2	8		8		2	1	6	2	0	5	24
医療	リハビリテー	理学療法 学専攻	6		1	2	2		1				10	2
学部	ション学科	作業療法 学専攻	3		2	1	3	1		1			8	3
	計		11	8	3	11	5	3	2	7	2	0	23	29

【平成29年度国家試験結果】

246.14- 67	M4 21 27		新	卒			既卒	
学校名	学科名	受験者数	合格者数	合格率	平成29年度 全国平均	受験者数	合格者数	合格率
茅ヶ崎看護専門学校	看護学科	76	69	90.8%	91.0%	11	8	72.7%
	理学療法学科	55	49	89.1%	89.1%	3	1	33.3%
	作業療法学科	13	9	69.2%	76.2%	3	2	66.7%
茅ヶ崎リハビリテーション 専門学校	言語聴覚学科	26	23	88.5%	79.3%	5	1	20.0%
	社会福祉専攻科 (通信課程)	41	20	48.8%	30.2%	85	15	17.6%
	介護福祉士実務者 研修 (通信課程)	31	25	80.6%	70.8%	1	1	100%
下田看護専門学校	看護学科	31	28	90.3%	91.0%	18	5	27.8%

【法人役員・評議員及び理事会・評議員会の開催状況】

1. 役員・評議員の数(平成30年3月31日現在)

役員、評議員	定数	現員
理事	6~8	6
監事	2	2
評議員	13~17	13

2. 役員名簿(理事6名、監事2名 平成30年3月31日現在)

理事長	大屋敷 芙志枝	監事	金井 清吉
理 事	大屋敷 幸志	監 事	竹俣 耕一
理事	熊谷 幸男		
理事	柴田 大司		
理 事	関 英雄		
理 事	有坂 健一		

3. 評議員名簿 (評議員 13 名 平成 30 年 3 月 31 日現在)

評議員	大屋敷 芙志枝	評議員	小野川 敏子
評議員	大屋敷 幸志	評議員	片山 容一
評議員	熊谷 幸男	評議員	加藤修一
評議員	秋山 朋寛	評議員	小林 勝一郎
評議員	朝日 正俊	評議員	新海 哲
評議員	有坂 健一	評議員	山本 澄子
評議員	入澤 登美子		_

4. 平成29年度 理事会・評議員会開催状況

	開催回数
理事会	11 回
評議員会	11 回

Ⅱ 主要な重点事業報告

1 重点報告の概要

(1) 学校法人湘南ふれあい学園の教育の方向性

学園各校は、教育力を高め、学生の学習力や学力の質保証を達成させると同時に、学力の到達度の確認・点検を行うための活動として、FD活動を実践した。

また、教職員の全体研修会では、建学の理念「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」の実践について、学校法人理事長によるプログラムにより、確認並びに学び直しを行った。(16~23 ページ 研修会プログラム参照)

また、本学園は、ふれあいグループ病院施設と連携して、公開講座、保健医療福祉に関わる学園 広報活動及びイベントを実施した(24ページ資料)。次年度以降も、地域連携活動に参加し、地域 の方々を支援する活動を通して社会貢献を行い、協力精神を学ぶ。

(2) 幼保連携型認定こども園みどり幼稚園の開園

みどり幼稚園から幼保連携型認定こども園みどり幼稚園に移行し、1歳児から就学前の児童を受入れ保育事業を展開した。認定こども園移行に伴い自前給食に変更になったため、湘南医療大学教員との連携により、食物アレルギー研修会を開催するなど、認定こども園教諭に食物アレルギーの知識や技術を獲得させる機会を作り、食物アレルギーの子どもの健やかな発達に貢献している。

(3) 湘南医療大学臨床医学研究所 開設

平成30年3月に学校法人湘南ふれあい学園寄附行為変更認可を受け、湘南医療大学臨床医学研究所を同年4月に湘南東部総合病院西館1階に開設した。今後は、「地域に根ざした健康づくり」を軸に据え医学・医療の研究を通じて、医学の繁栄と医療の質の向上・保障に寄与することを目的に、湘南東部総合病院と連携を図り、共同研究及び個人研究活動を活発化させていく予定である。

(4) 湘南医療大学大学院保健医療学研究科(仮称)申請

平成30年3月文部科学省に大学院保健医療学研究科保健医療学専攻の設置認可申請(平成31年4月開設)し、受理された。平成30年度は、開設に向けて所轄官庁の審査を経て、認可を受ける予定である。その後、学生募集を含めて、開設準備を整え、保健医療学の発展に資する高度専門職業人の養成を行う。

(5) 下田看護専門学校学生寮の改築検討

平成 29 年度中、下田看護専門学校学生寮の老朽化問題に関して、種々検討したが結論に至らず、 平成 30 年度も修理保全を行いつつ、継続して検討することとなった。

(6) 全学連携の教育改善活動 (FD/SD/PDC) の推進

ア 全学FD・SD活動

大学設置基準の改正(平成29年4月1日施行)により、SD活動の義務化となり、「大学は、そ

の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員及び教員等を対象とした、必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けるほか、必要な取組を行うものとする。」となった。本学園は、法改正以前から、FD活動に加えて、SD及びPDC活動を教育部会、大学部会及び保育部会に分かれて、学園全職員が参加して2カ月に一度の全体研修会、6月の専門部会別研修会、11月のチーム医療研修会、2月の医療・教育研究会を実施しており、平成29年度も授業方法の改善、個別学習指導方法、学生募集、社会貢献活動等、様々な課題や教育テーマについて研修を実施し、学生や地域に対して本学の教育研究活動を還元した。(16~23ページ参照)

イ 全学PDC活動

PDC活動は、教育の質の改善、向上させるためのマネジメント手法として、本学園全体で取り組んでいる。平成 29 年度も、各校園とも、毎月、①学生募集 ②教務・学生支援 ③国家試験対策 ④6 S活動 ⑤業務改善等 の項目について、プラン・アクション・チェックを実施した。また当月の問題点や課題点を検証し、次月に改善できるように対策を行った。

教務関係は1年スパンで特に湘南医療大学では、私立大学等総合改革支援事業の各項目の達成(36ページ参照)を目標に完成年度に向けて、未達成項目の取り組みを実践している。

(7) 地域連携推進及び研究推進

• 地域連携推進

地域公開講座の実施

地方自治体や地区自治会との連携事業

- ①大学まつり/専門学校進学 ②中学校職業体験受入れ ③中学生対象大学体験会
- ④地区住民の環境をモデルとした研究または実習 その他
- 研究推進

個人研究の推進・・研究計画から医療・教育研究会での発表

公的研究の推進・・研究倫理教育の実施、科研費応募のための学内説明会、研究不正防止 研修の実施

共同研究の推進・・大学研究者とふれあいグループ病院施設との共同の研究テーマを模索 し、地域医療に貢献する研究活動を実施する。

(8) チーム医療教育の実践

本学園は、ふれあいグループ(医療法人グループ)の教育部門としての位置づけで、各校の卒業生を医療人材としてグループに供給する使命を果たしている。近年の医療現場は、様々な専門職が連携し、患者様中心の医療を提供する「チーム医療」が主流となっており、本グループの病院においても各専門職が、それぞれ専門性を活かして、チームとしての役割と責任を果たし、治療やケアを行っている。そこで、本学園全体で取り組んでいる平成29年度の「チーム医療教育の実践」は、各校のカリキュラムにおいても、チーム医療を意識した授業を展開し、高度な知識・技術の修得に

加えて、コミュニケーション能力の高い人材の養成にも努めた。

(9) コンプライアンスの徹底(継続)

- ア 毎月、規程のとおり、理事会、評議員会を実施した。(5 ページ)また、各校園において、会議、委員会を予定どおり実施した。
- イ 平成29年度も各校とも自己点検評価を実施し、ホームページに評価結果を公表している。
- ウ 4月に教職員オリエンテーション又は研修会の際に、教職員の行動指針や行動規範について 説明し、教職員ハンドブックとして、各校園に備付し、いつでも閲覧できるようにしている。
- エ 各校の学生便覧等において、SNSの注意事項を掲載して指導を行っている。特に学生間の コミュニケーションツールとして利用している場合でも、プライバシー設定が不十分であっ たり、友人から引用されることなどにより、書きこんだ情報が思わぬ形で拡散する危険性も あるため、書き込む内容や情報の管理徹底には十分注意喚起を促した。

(10) <u>規程の整備(継続)</u>

平成 29 年度に施行、及び改定した本学園関係の規程は27ページ一覧の通りである。平成 30 年度は、平成 31 年度の大学院設置に向けて、大学院関係及び臨床医学研究所の規程の整備を中心に行い、また、学長、学校長、園長がリーダーシップをもって戦略的に運営できるように引き続き対処し、施行する予定である。

2 人事計画及び組織

(1) 人事計画

本学園の教職員数は、学園の配置基準や所轄官庁等の指定規則等に準じて年次計画で教員及び職員を配置しているが、定年退職や病気退職等の理由により後任の教職員がスムーズに配置できない場合もある。大学の昇任基準や専任採用基準を規定化したが、現在は大学がAC期間中であるため、文部科学省の審査による教員人員配置となる。

また、大学院の申請に必要な教員(学部との兼担)を確保し、申請に至った。臨床医学研究所の 事務職員は、大学総務担当職員と病院の担当職員が兼務して連携して行う。

(2)組織

学生に対して医療従事者に必要な倫理観をいかにして植え付けていくかが課題となった。質の高い医療に従事するために、高度な知識・技術を取得すること、品行を高く保持することなど、自己の責任と能力を的確に認識して個々の責任を守ることなど、医療従事者としての基本的事項の確認を継続した。

各種会議は、学長、学校長、園長のリーダーシップにより平成 29 年度も実施され、得た決議を 実際の教育現場等における指導などへ反映された。

平成 29 年度も I R担当者の設置の必要性を認めつつも学園本部内に配置することは出来ず、平成 30 年度の課題として残った。情報公開を徹底して行うためにも諸々のデータ管理と分析をもっ

て学生指導や学園に関係するステークホルダーに対応したい。

(3)教職員の人材育成

教育部会、大学部会、保育部会の年間の様々な研修活動を通して、学園全体の「教育の質の保証」 を高める人材育成のための研修を実施した。(16~23 ページ 参照)

3 募集・広報計画

本学園が設置する各校の学校説明会及びオープンキャンパスは、教職員並びに在学生ボランティアによって、学校の温かい雰囲気が伝わるような内容を考案し実施している。また、将来の目指す職種の職業体験においては、ふれあいグループ病院施設と連携して行った。各校とも高校訪問を中心に丁寧に高校の先生方に説明するとともに、受験生の保護者に対しても、本学園の魅力を伝え、ふれあいグループの奨学金制度の充実など魅力や卒業後教育の充実なども学科内容と併せて説明を強化した。

しかし、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校作業療法学科及び医療ビジネス観光情報専門学校医療 ビジネス学科で定員割れとなり、来年度募集に向けて早急に広報戦略の改善を検討する。

Ⅲ 各学校の事業報告

1) 湘南医療大学

(1) 理念の実践

全体研修、教授会、その他委員会等各種会議を通して、全教職員、学生に対して「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」の理念を礎とする、思いやりのある教育活動を実践することを確認し、行動した。

(2) 教育活動の実践

平成 29 年度においても、大学設置の趣旨、目的を全教職員で共有し、学生が健康で有意義な学生生活を送れるよう教育活動に努力した。そして、平成 29 年度は看護学科 102 名、リハビリテーション学科 88 名の第 3 期生を迎えた。

ア)学修指導

オリエンテーションガイダンスを通じて、看護学科及びリハビリテーション学科の設置趣旨の 理解促進、及び学生便覧、シラバス等により 4 年間にわたる系統的な学習計画の指導・説明を実施した。

イ)入学前教育の実施

看護学科、リハビリテーション学科ともに、入学に先立ち、AO入試入学者は11月後半から、 推薦入試入学者に対しては1月より、入学前課題を出題した。パソコン・スマートフォン・タブ レット等を使ってインターネット上で行うウエブ課題形式で、基礎学力・数学・物理・化学・生物 等の課題を出題した。

ウ)オフィスアワーの実施

学生が主体性を持って自主的に学習計画を進めるにあたり、オフィスアワーを活用できる環境

を整備し、オリエンテーションガイダンス、授業概要誌面上の周知、教員研究室の掲示等を活用 して、学生のオフィスアワーの活用を促す取り組みを促進した。

工)国家試験対策

看護学科は、1年生は国家試験の重要性についてオリエンテーションを行った。2年生は学生が自身の知識レベルを知り国家試験の意識高揚と学習計画の基礎固めを目的に、夏期に模擬試験を実施し、3年生は9月と2月に2回模擬試験を実施した。また国家試験委員会を組織し、3年生の強化対象学生を抽出しチューターによる指導を行った。

リハビリテーション学科は、理学療法学専攻の1年生は自己学習用のテキストを配布し、過去の 模擬試験を2回実施した。2年生は専門科目が増えた事で講義内に国家試験の過去問題に触れなが ら年度末に3年生と同様の専門基礎科目の模擬試験(解剖学・生理学・運動学)を実施した。3年生 はゼミ形式の学習と担任による過去問題の解答、2月末に業者の基礎模擬試験(解剖学・生理学・運 動学)を実施した。

作業療法学専攻の1年生については毎週1回実施するホームルームにて、クラス担任を中心に学生の資質向上を図るため、自学自修の勉強会を実施した。2年生は専門基礎科目(解剖学・生理学・運動学)の模擬試験を行い、結果のフィードバックと個別対応を行った。3年生は教員オリジナル模擬試験(臨床医学科目)と春先に専門基礎科目(解剖学・生理学・運動学)の模擬試験を実施した。

(3) FD活動

教員の教育力向上を目的としたファカルティ・ディベロップメント(FD)の取り組みの一環として、FD委員会を実施し、学生による授業評価アンケート、教員相互の授業参観、新任教員を対象とした教育方法・学生指導に関する研修会を企画実施した。

ア) 学生による授業評価アンケート

「F Dネットワークつばさ」の共通フォーマットによる授業評価アンケートを前後期に実施した。 アンケート結果は、授業科目ごとにデータ化するとともに授業科目群別のレーダーチャートを作成、科目担当教員に渡すと同時に、今後の授業改善内容を記す「リフレクション・ペーパー」の作成と提出を依頼した。

イ) 教員相互授業参観と自己評価

効果的な授業の進め方、目的に沿った授業運営方法等について、各学科前後期に分かれて各 2 科目を対象として授業参観を実施した。実施後、参観した教員にはワークシートを提出してもらい、教員個々の授業運営への活用や、今後の授業参観の運営方法に関する改善点等について意見交換と情報収集を行った。

ウ) 新任教員を対象とした教育方法に関する研修

本学の教育方針、行動指針を理解し、教育目標の実現に向けて最大の効果を発揮することをねらいとして、新任教員を対象に教育方法や学生指導等に関する研修を実施した。

エ) コミュニケーションに関する研修

東京工芸大学教授の大島武先生を招へいし、「教授法再考~ わかりやすい授業を実現するために~」の題でコミュニケーションに関する講演を実施した。

オ) 他大学の教育方法の伝達研修

両学科のFD委員から他大学で展開している研修に参加した内容について発表形式の研修を実施した。

カ) 臨床実習指導方法に関する講習会

両学科ともに実習指導者及び学内教員に対して臨床実習指導法について研修を実施した。

キ) 実習評価に関する研修

両学科ともに学内教員に対して実習評価について研修を実施した。

ク) 教育方法改善検討会

学生のモチベーション向上について、1 学科 2 専攻ごとに事例発表を行い、両学科混成でグループワークを行った。

(4) 私立大学等改革総合支援事業

文部科学省に提出した大学設置計画の履行遵守を念頭に、より良い教育・より質の高い教育目標を達成するための指針とするために、本学は大学運営管理会議において私立大学経常費補助金事業の一つである「私立大学等改革総合支援事業」の評価項目に照らし合わせて状況を確認し、大学教育の質的転換を図かれるように課題に取り組んだ。(28ページ)

(5) 学生募集活動

計画的広報活動のもと、看護学科については、536名の志願者に対して、アドミッションポリシーに基づく選考の結果、82名の入学者(定員超過率1.02)であった。また、リハビリテーション学科は403名の志願者に対して、選考の結果、86名の入学者(定員超過率1.07)であった。

(6) 地域交流活動

横浜市の主催である大学・都市パートナーシップ協議会に参加。ヨコハマ大学まつり(9/30,10/1)において、次の体験授業を実施した。

- ①「看護師ってグローバル人材」(看護学科 笠原先生)
- ②「作業療法ちょこっと体験~ひとは作業することで元気になれる~」(リハビリテーション学科 楜澤先生)

(7) 大学院設置構想

湘南医療大学大学院設置準備室を開設し、大学院の設置基本構想案の策定(名称、設置趣旨、目的、研究科の構成、学生定員、専攻の構成、授与する学位、領域の概要、教員組織、教育課程編成の特色等)の検討を重ね、平成30年3月16日に文部科学省に湘南医療大学大学院設置認可申請書を提出し、受理された。

2) 茅ヶ崎看護専門学校

(1) 学生募集

平成29年度の募集活動の課題は、①推薦入試を含めた高校生出願者確保②一般入試の減少を食い止め、出願者確保を目指した。そのため、一般入試を2回実施していたものを1回とし、AO入試を2回実施して志望者を確保した。

最終的に 208 名(倍率 2.54 倍: 昨年度出願数 241 名)と昨年から減少したものの AO 入試の出願者 維持と推薦入試出願者が昨年に比べ増えた点(昨年推薦出願者 34 名⇒49 名)を評価している。

(2) 学生への学習サポート

1、2年生の特徴として、解剖生理学、病理学の理解が乏しく、基礎看護学において知識が不足しているため、対策として数学、国語に関する補講を行ったが、伸び悩んだ。

3年生に対しては、実習不合格者に対し、夏期、冬期休暇期間を中心に再実習を組むことで、通常の学習の妨げにならないようにしていたが、長期休暇中に行う国家試験対策講座に出られないなどの問題があった。実習指導における課題として、コミュニケーションに関する問題を抱える学生が実習に躓く傾向があることがわかり、次年度に向けた対策を検討する。

また、看護師としての倫理観の醸成など、基本的な生活指導を徹底する必要性も見受けられた。 休学・退学者数は前年に対して増加し、教員との面談、指導体制、学習支援体制を再度見直し、スクールカウンセラーの活用など多角的な視点で学生支援を行う必要性を感じた。教職員組織を見直し、学生が学びやすい環境づくり、学習を効果的に進めるための授業内容(特に視覚教材の導入など)を取り入れることを検討している。

3) 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

(1) 学生募集活動

平成 29 年度の学生募集活動は、昨年同様、本校を第一希望とする生徒を早い段階から受験させ、年内には定員の 9 割程度の確保を心がけた。しかしながら、資料請求数、見学者数など、すべての数値が 2 割減となった。コンタクト者数の減少を見込み、出願に繋げる展開の工夫を実践した結果、理学療法学科は何とか定員を上回る出願者を確保することができた。しかし、作業療法学科においては、年明けの一般入試でようやく 20 名を確保した状況であったため、定員を大きく割り込んだ21 名の入学者となった。言語聴覚学科も出願者数も他学科同様、一昨年の 66 名から 50 名に減少した。37 名の合格者を出したものの、辞退者が出たこともあり、3 月の最終一般入試で定員 35 名を確保することができた。

(2) 学生への学習サポート

平成 29 年度は、学科間の交流や連携、教職員全員が目標に向かって協力する強い組織づくりを目指し、学校行事(入学式、卒業式、文化祭、保護者会等)で、課題点はあるものの結束力を見ることができた。

教員は授業だけの指導でなく、確認テストや小テスト、更には生活習慣など個別指導を実施して「徹底的に面倒見る」姿勢を続けている。成績不振者に対する指導、留年生や再履修科目を持つ学生へも対応しているものの、当該学生自身が学習意欲を向上させるための取組みは課題である。また、対極となる目標レベルの高い学生からの要求に対応する必要もあり、授業以上に補講等の補習や個別対応に時間を割いている。

継続的に学生のモチベーションを向上させるために、将来の職業像や学修指導を充実させる。

また、入学前教育や初年度教育では、基礎学力の向上や道徳・マナーの面はもちろん医療人として必要な社会人基礎力の養成もカリキュラムに盛り込んで実施した。なお、1年生に退学者が多い傾向であることから、初年度教育の充実として入学前教育に新たな手法を取り入れ、その成果を次年度以降に期待する。

4) 下田看護専門学校

(1) 学生募集

平成 29 年度の出願者数は、95 名であった。昨年度 111 名、一昨年度 134 名の出願数と比較して、少子化の影響を受け、新卒・既卒問わず、受験者が減少しており、さらに、近年、神奈川県内の大学・専門学校の新設・定員増があって本校近隣の伊豆地区、静岡県東部地区からの受験生が流れている等、募集環境は厳しさを増している。

定員確保を円滑に進めるために、AO入試、特別AO入試で確保を目指し、思い通りの結果には至らなかったものの、最終的に40名の入学生を確保することができた。

(2) 学生サポート

国家試験対策としては、12月の早い段階で、3年生の全実習の日程を終了させ、国家試験への意識切り替えを試みた。まずは、クラス一体となった国試対策の雰囲気を構築するよう指導した。正文1100文の暗誦などを新たに実施し、その他の全体的な国家試験対策の内容は、それほど大きく変えなかったものの、その後、成績向上が見られ、31名受験28名合格、合格率90.3%の結果となった。

教員確保については、実習担当教員(非常勤)の欠員を埋めることができなかったため、県内外に点在する臨床実習地へ専任教員がすべて赴かなければならず、専任教員の負荷が高まった。 しかし、そのことで学生の実習時動向だけでなく、病院側の実習指導者と実習指導の方法確認など、十分に連携を取ることができ、不足を補うことができた。

|5) 医療ビジネス観光情報専門学校

(1) 学生募集

平成 29 年度は全教職員一丸となって募集に取り組み、入学者数は 108 名となり、80 名の募集 定員を大きく超えたものの、日本人学生は 58 名であった。

(2) 学生支援

年間の退学率は、10.1%(前年9.3%)となり、28年度から0.8ポイント減少した。

新たな試みとして、医療ビジネス学科医療経営専攻においては、1年を通じて朝学習を取り入れたことにより、28年度1名しか合格できなかった11月の医療秘書検定において7名の合格者を輩出することができた。

更に、ふれあいグループに貢献できる人材育成の一環として、介護職員初任者研修の修了者を 9名輩出することができた。

医療ビジネス学科からは、6名がふれあいグループに就職した。全学科(日本人クラス)では、 就職希望者51名に対し、内定者49名就職率96.1%とここ数年で最も高い就職率とすることがで きた。

6)みどり幼稚園

(1) 園児募集

5月12日から園内見学を開始し、予約制で月・火・金曜日に一日5組の未就園児親子を受け入れ、幼保連携型認定こども園みどり幼稚園の特色や、保育活動、教育方針などを理解していただけるように親切かつ丁寧に対応してきた。保育部門への見学者も対応し、公開保育、説明会の日を含め、89組の親子の見学があった。

幼保連携型認定こども園として 3 号認定、1 歳児 8 名、2 歳児 10 名、2 号認定として 3 ・ 4 ・ 5 歳児各 12 名を定員に設定し、区役所からの受け入れを行い、最終的に平成 30 年度の 園児として計 200 名の園児確保ができた。

(2) 園児教育

幼稚園教育要領の中の「健康」に関しては運動会、「表現」に関しては発表会、「制作、 絵画」については作品展を行い、日々の保育活動の成果や園児達の成長を保護者へ見せる ことができた。(1、2 歳児へは自由参加を呼びかけ、幼稚園部門に関心を持てるようにし た。)

給食を通して食育にも力を入れ、給食会議では献立の工夫や食物アレルギー対応について検討し、教職員への研修も続けて実施してきた。

教育目標の一つである「丈夫な体を持つ子に」の取り組みとして乾布摩擦を励行した。 幼保小交流事業や中学校・高校と定期的に交流を重ね、園児、生徒がふれあう時間を作ったり、ふれあいグループ内の湘南医療大学や専門学校(茅ヶ崎看護専門学校、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)の実習生を受け入れ、学生の幼児理解に繋げたりと、園児たちは幅広い年代交流ができた。

7) 学園本部

(1) 認可申請

平成 29 年 7 月に日本看護協会に平成 30 年度開講の認定看護師養成課程(認知症看護分野)の設置申請を行い、平成 29 年 11 月に認可を受けた。

平成30年4月開設湘南医療大学臨床医学研究所設置に伴う寄附行為変更認可申請を行い 認可された。

平成30年3月に湘南医療大学大学院設置申請に伴う寄附行為変更認可申請を行い、受理された。

平成30年3月に医療ビジネス観光情報専門学校介護福祉学科(仮称)設置計画書を神奈川県に提出し受理された。

(2) 監事監査方針及び計画

平成 29 年度監査対象校である湘南医療大学、幼保連携型認定こども園みどり幼稚園の内部監査及び監事監査を以下の通り実施した。

【業務監査】

	内部監査	監事監査	結果
湘南医療大学	平成 29 年 9 月 14 日	平成 30 年 3 月 20 日	適性な運営であること
			が確認された。
幼保連携型認定こども園	 平成 29 年 11 月 24 日	平成 30 年 2 月 6 日	適性な運営であること
みどり幼稚園	一十八 29 十 11 月 24 日	平成 30 平 2 月 6 日	が確認された。

【会計監査】

平成30年5月10日 公認会計士より監事2名が平成29年度の予算執行状況等の説明を 受け、適切な運営であることが説明された。

IV. 大学部会、教育部会、保育部会 平成29年度 研修会プログラム

【大学部会】

月	的会 】	 発表者
月		
4.5 月	ふれあいグループが目指すもの	理事長
	全体研修会及び大学部会の意義 コンプライアンス : 学園のガイドライン・H29 年度 学園・大学の規程の変更等	₩ 国 ₩₩
	コンプライテンス : 子園のガイドライン・FL29 千度 子園・八子の規程の変更等 《FD 研修① : 大学の理念・教育目標》	学園本部
	新任教員及びその他の教員に対する教育方法、学生指導等の研修	
	①大学の理念・目的、学部の教育目的②ディプロマポリシーとカリキュラムポリシー	①~③学部長
	③3つの教育実践1. 高度な専門知識と技術教育2. 質の高いチーム医療教育3. 地域医	
	療の充実	
	④「看護学科及びリハビリテーション学科の教育方法」	④学科長
	・学生を育てるための取り組み・授業評価の結果を生かした授業の実践・チューター制度/	
	担任制度/オフィスアワー・国家試験対策支援・臨地実習・臨床実習 実習指導	
	⑤学生指導・学習支援・大学生活マナー 等	⑤看護学科
	《FD 研修② : 個別学習指導としてのPDC活用の試み》 PDCの手法を取り入れて学修時間管理や学修習慣を身に付けさせる方法	リット・リニュール学科
	PDCの子伝を取り入れて子修時間管理や子修育頂を身に付けさせる方伝 《SD 研修① : 本年度の大学広報活動と学生募集戦略》	リハビリテーション学科
	①昨年度の入試実績と分析②アドミッションポリシーに基づいた学生募集	事務部
	《SD 研修② : 新年度に学生に伝えるキャリア支援》	7-100 pp
	学年に応じたキャリア支援の在り方について ~学生サービスの充実~	事務部
6月	平成 29 年度専門部会別研修会(プログラム別途)	
	平成 29 年度専門部会別研修会 (ノログラム別述) ふれあいグループが目指すもの	加本 尼
7.8 月	ぶんめいクルーノが日指すもの 《6S 活動》6S 委員会からの活動報告	理事長 事務部
	《SD 研修①:業務改善》残業削減への取り組み	事務部
	《SD 研修②: 入試広報》2018 年度入試とオープンキャンパスに向けて	事務部
	《FD 研修①:授業研究》2016年度授業評価アンケート高評価教員による講義方法の発表	7-100 PM
	看護学科/【看護援助論 I 】、【小児看護方法論 I 】	看護学科
	リハ学科/【神経系検査測定学】、【基礎作業学】	リハビリテーション学科
	《FD 研修②:教育技法改善のための機器利用に関する講習会》	
	看護学科:クリッカーを使用した講義法	看護学科
	リハビリテーション学科:唾液アミラーゼ測定法	リハビリテーション学科
9.10 月	ふれあいグループが目指すもの	理事長
	《SD 研修:業務改善》 大学入試センター【文部科学省顧問:安西祐一郎氏】	事務部
	八字八畝ピンター【又部件子自顧问:安四州一郎八】 研修報告について新テスト導入で、学生募集・入学試験はどう変わるか?	
	〜思考力・判断力・表現力を評価できる入試へ〜	
	《FDSD 研修》研究活動における研究費不正行為防止に関する研修ガイドライン(平成 26	リハビリテーション学科
	年8月26日文科大臣決定)	
	湘南医療大学研究費不正使用・研究活動に関する各規程	事務部
	≪FD 研修≫	
	・科学研究費採択者から講演	看護学科
	研究内容や研究手法、科研費獲得の工夫	リハビリテーション学科
	・①4月5月の全体研修会より A.大学の理念・目的、学部の教育目的 B.ディプロマポリシ	
	ーとカリキュラムポリシーC.3つの教育実践	
	1. 高度な専門知識と技術教育 2. 質の高いチーム医療教育 2. 質の高いチーム医療教育 3. 質の高いチーム	
	2. 負の高いサーム医療教育	
	- 6. 地域区域の元英 - ・②『大学設置認可申請時におけるチーム医療論の科目方針』	
	・③チーム医療論についてのGW(具体的な講義展開方法についての検討)	
	(CD III lie)	
	《SD 研修》	
	各部署の業務改善について	GW
	現状の大学の課題について GW	

11月	≪FD 研修≫	arr.
117,	チーム医療研修	GW
	《SD 研修》	
	ふれあいグループが目指すもの	理事長
	業務改善(PDC)	事務部
	教学支援を目的とするSD研修~『退学防止への方策』を検討する~	
	今ある資源を活かして事務としてできる事を考える	
	戦略的な企画能力の向上を目的とするSD研修~『大学のブランディング』について考え	
	3~	事務部
	①『増加する保護者参加。説明会ではどう対応するか』	事務部
	②『今の高校生はどう大学を選ぶか?~アンケートから分析~』 ・本学の『強み』や『長所』は何か?それをどう活かしてしていくのか?	7 177 PP
	・ 現状の資源はどう活かせるのか	
	・ 光小の真体はて プログ・ビ ののが	
2月	第 14 回ふれあいグループ医療教育研究会(プログラム別途)	
3月	第 14 回ふれあいグループ医療教育研究会 (プログラム別途) ふれあいグループが目指すもの	理事長
		理事長 事務部
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修:危機管理》防災について 《FD/SD 研修:学生募集》H29 年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点	事務部 事務部
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修:危機管理》防災について	事務部
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修:危機管理》防災について 《FD/SD 研修:学生募集》H29 年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点	事務部 事務部
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修: 危機管理》防災について 《FD/SD 研修: 学生募集》H29 年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点 《FD/SD 研修: 休退学状況のデータ報告》 《FD 研修》 ・他大学の教育方法の伝達~設置認可申請時 FD 年間計画~	事務部 事務部
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修:危機管理》防災について 《FD/SD 研修:学生募集》H29 年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点 《FD/SD 研修:休退学状況のデータ報告》 《FD 研修》	事務部 事務部 事務部
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修: 危機管理》防災について 《FD/SD 研修: 学生募集》H29 年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点 《FD/SD 研修: 休退学状況のデータ報告》 《FD 研修》 ・他大学の教育方法の伝達~設置認可申請時 FD 年間計画~	事務部 事務部 事務部 看護学科
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修: 危機管理》防災について 《FD/SD 研修: 学生募集》H29 年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点 《FD/SD 研修: 休退学状況のデータ報告》 《FD 研修》 ・他大学の教育方法の伝達〜設置認可申請時 FD 年間計画〜 ・教育方法改善検討会〜設置認可申請時 FD 年間計画〜	事務部 事務部 事務部 看護学科
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修: 危機管理》防災について 《FD/SD 研修: 学生募集》H29 年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点 《FD/SD 研修: 休退学状況のデータ報告》 《FD 研修》 ・他大学の教育方法の伝達~設置認可申請時 FD 年間計画~ ・教育方法改善検討会~設置認可申請時 FD 年間計画~ 《SD 研修》 ・伝達講習 神奈川県学生生活協議会 ハラスメント対策研修~ハラスメントのないキャンパスに向けて~	事務部事務部事務部看護学科リハビリテーション学科事務部
	ふれあいグループが目指すもの 《FD/SD 研修: 危機管理》防災について 《FD/SD 研修: 学生募集》H29 年度学生募集・入試の振り返りと次年度の変更点 《FD/SD 研修: 休退学状況のデータ報告》 《FD 研修》 ・他大学の教育方法の伝達~設置認可申請時 FD 年間計画~ ・教育方法改善検討会~設置認可申請時 FD 年間計画~ 《SD 研修》 ・伝達講習 神奈川県学生生活協議会 ハラスメント対策研修~ハラスメントのないキャ	事務部 事務部 事務部 看護学科 リハビリテーション学科

【教育部会】

	T	<u> </u>
	内容	発表者
4.5 月	ふれあいグループが目指すもの 本年度の教育部会研修目標 PDC:学生募集 昨年度Cと本年度P 学園のガイドライン:H29年度学園規定の変更点 国試対策 FD研修 生活指導:学習法を確立させる面接とカウンセリング SD研修 学生募集:受験生に選ばれる学校づくり 医学講座 知っておきたい役立つ知識・技術	理事長 部会長 医療ピジネス観光情報専門学校(医ビ校) 学園本部 下田看護専門学校(下田校) 茅ヶ崎リハピリテーション専門学校(リハ校) 茅ヶ崎看護専門学校(看護校) DVD
6月	平成 29 年度専門部会別研修会	
7.8月	ふれあいグループが目指すもの PDC:学生募集 昨年度Cから本年度Pの実施 個人情報管理の徹底 国試対策:昨年度の対策事例 SD研修 企画力の強化:学校の魅力を高める広報企画 医療講話	理事長 茅ヶ崎看護専門学校 学園本部 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 医療ビジネス観光情報専門学校 DVD
9.10 月	ふれあいグループが目指すもの 教職員が知っておく情報の研修:学生募集・入試・広報 SD研修:学生指導に活用できるコミュニケーション能力の向上を目指して FD研修①:学生を100%就職させるためには FD研修②:「模擬授業」及び意見交換	理事長 44校担当者

9.10月 続き	看護校	授業の評価方法について	
.,,	IJ	カリキュラムの見直し	
	· ハ 校	入学生の特徴と抱える問題とその対応	
	校	リスクマネージメント方法	GW
	下田校	学生募集活動の見直し(学校説明会)	
	医ビ校	授業方法の工夫について	
11.12月	ふれま	らいグループが目指すもの	理事長
11.12/1	教職員	員が知っておく情報の研修・高等教育機関と2020年問題	
	SD研	F修教職員のビジネスマナーを向上させるいますぐできるビジネスマナー	
		所修①・入試方法の検討	▶ 44校担当者
		F修②「模擬授業」及び意見交換	
		修仏「快焼汉未」及い总元文侠	
	看護校	学生の授業評価について	教務主任
		入学前教育について	理学療法学科
	IJ	学生の授業評価について	作業療法学科
	ハ 校	実習計画の見直しについて	言語聴覚学科
	1.0	情報管理と整理・整頓	
			事務課
	下田校	学校説明会の内容見直しについて	事務課
	医ビ校	学生にわかりやすい教授法について	医療t゙ジネス学科
2月		回ふれあいグループ医療教育研究会 (プログラム別途)	
1.3 月	ふれま	らいグループが目指すもの	理事長
	教職員	員が知っておく情報の研修 国家試験の取り組み	
	SD研	肝修・情報の整理・整頓	I fotosta ta
		F修①・学生による授業評価の方法とその活用法	├ 44校担当者
		所修②「模擬授業」及び意見交換	
	看護校	シラバスの活用法	
	校	マファンNOAITAIA	_
	リ ハ 校	カリキュラムの見直し、授業方法の工夫 実習カリキュラムの変更方法、業務改善による働き方改革	
	校下	<u> 夫省ルリヤユフムの</u> 変更万法、業務収書による側ざ万以事	GW
	世校	ガイダンスでの説明内容について	
	医 ビ 校	受験生に選ばれる学校づくり	

【保育部会】

【休月司		
	ふれあいグループが目指すもの	畑事目
4.5 月		理事長
	本年度の幼・保育部会の研修目標	園長 医療ビジスス観光情報専門学校
	PDC 学生募集 昨年度と今年度	学園本部
	学園のガイドライン・平成 29 年度学園既定の変更点	子图 平 即
	子どもの事故を予防する運動遊び	
	子どもの事故予防と運動能力向上について	$\mid \; \succ_{\text{DVD}}$
	身体を使ってバランスアップ	
	衝突の予防と敏捷性の向上	
6月	平成 29 年度専門部会別研修会(プログラム別途)	
7.8 月	ふれあいグループが目指すもの	理事長
, ,	乳幼児突然死症候群への対応策と子育て環境	園長
	保育所における感染症対策 改訂のポイント	教諭
	環境整備と衛生管理	主任
	保育所における感染拡大防止策	園長
	食物アレルギー対応	主任
	食物アレルギーについて	大学看護学科教員
	保育がもっと豊かになる遊びうたのススメ	教諭
	日常の保育を見直してみよう	教諭
	本で伝えたい「あるがままの子どもの魅力」	教諭
	子どもの表現を豊かにするために	
	ふれあいグループが目指すもの	教諭
9.10 月	1 111 -	理事長
	乳幼児突然死症候群への対応策と子育て環境	園長
	保育所における感染症対策 改訂のポイント	教諭
	環境整備と衛生管理	主任
	教えて子どものアレルギー	١٦
	はじめて作る食物アレルギーのごはん	├ DVD
	食物アレルギーとつきあう親子	ا ا
	防災について学ぶ	主任
	自閉症スペクトラム障害の理解	教諭
	生きることは表現すること	教諭
	自分の自然力を高めよう	教諭
11.12 月	ふれあいグループが目指すもの	理事長
11.12 / ,	保育所における感染拡大防止策	園長
	食物アレルギー対応	主任
	リスクマネジメント	教諭
	子どもの主体性を育てる保育	教諭
	新保育所保育指針について	教諭
	新幼稚園教育課程について	園長
	食物アレルギーの基礎知識	大学看護学科教員
	食物アレルギーの知識を深める	大学看護学科教員
2月	第14回ふれあいグループ医療教育研究会(プログラム別途)	八子有吸于什么只
	ふれあいグループが目指すもの	711 ± F
1.3 月	乳幼児突然死症候群への対応策 (ヒヤリハット・気道異物除去法などについて)	理事長
	感染症対策について (インフルエンザ・ノロウィルスなど)	DIAD
	環境整備と衛生管理(食事時・トイレ指導など)	DVD
	感染拡大防止策	
	アナフィラキシー対策と「エピペン」の扱い	
	こどもの育ちと造形活動	教諭
	1歳児の一日の保育を振り返る	教諭
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領改訂について	園長
	発表会の振り返り	
	個性をみがき未来へ伸ばす (運動遊び)	DVD

平成 29 年度専門部会別研修会(平成 29 年 6 月 18 日(日))

大学部会	
テーマ: 高大接続・大学改革における「主体性・他養成・協働性」を伸ばす教育	
①「やらせる学習」「与える学習」からの脱却	看護学科
②「主体性・他養成・協働性」を育む ~現在・未来・そして私の試み~	看護学科
③教育計画の実行状況-成果と課題-	リハビリテーション学科
④主体性・多様性・協同性の醸成を基本とした作業療法学専攻の取り組み	リハビリテーション学科
⑤「看護倫理」を2年次前期必修科目として教授することの意味について	看護学科
⑥医療人として必要な「倫理性」の教育	リハビリテーション学科
⑦学生募集を目的とした出前授業	看護学科
⑧サークル活動を通しての社会貢献活動の実践	リハビリテーション学科
⑨地域連携にむけた活動報告とキャリア支援	事務部
⑩チーム医療を実践できる人材教育について	学部長

教育部会		
テーマ:授業デザインとアクティブラーニング		
①授業デザインの工夫について	部会長	
②模擬授業1 ワークシートを用いた授業	茅ヶ崎看護専門学校	
③模擬授業2 反転授業	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	
④模擬授業3 グループワーク (協働学習)	医療ビジネス観光情報専門学校	
⑤学校説明会の取り組み 4校担当者		

保育部会	
テーマ:乳幼児の健康管理	
①乳幼児突然死症候群への対応策と子育て環境	教諭
②保育所における感染症対策ガイドラインについて	教諭
③環境整備と衛生管理	教諭
④保育所における感染拡大防止策	教諭
⑤食物アレルギー対応	主任
⑥平成29年度保育部会の今後について	部会長

第14回ふれあいグループ医療教育研究会(平成30年2月18日(日))

テーマ:平成29年度 教育研究報告 ②大統甲のアルツハイペー型認知症高齢者の食事的の過ごし方が及ばす食事への影響について ②地域に焦点を当てた精神看護学業習での学生の学習傾向 ③介練事者である高齢男性が看護学生に語った良々介護へ6年4ヶ月にわたる介護体験に関する 番男の分析へ ⑤地域に活を恣る精神疾患をもつ人の睡眠障害に関する研究 ⑥文献にみるフルタイム看護師のリーク・フィフ・バランス ②育児と親の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連 ⑥太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ④電震師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴 ⑩文製の育児・家事参加と母親の青児ストレスと助うつとの関連 ⑥アフリカにおける高齢化予測とケアの実際・セネガル、エチオピアの事例から〜 ④音速基礎教育における接護患者を活用した教育効果の検討へ口腔ケア減習を通して(第1様)〜 ④発在電度度労・渡高齢者の排泄分譲における疾族介護者の負担に関連する要因 ⑩ 名併用療法を経て3 創併用療法の関始に至ったと型所炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑥保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥音減基礎教育におけるリハピリテーション看護教育の現状と課題 ⑥の電減基礎教育におけるリハピリテーション看護教育の現状と課題 ⑥の電減基確教育の表果へ指導体験師へのインタビューから〜 ⑥音減者が不妊症患者を関わる中で感じる困難や危軽 ⑥歩子高校生の子音葉がん予防行動に関する研究 ②命を終めた実調症の早期介入に関する研究 ②命療のアブが収定な子どもを育てる母親の支援について ②命気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外 A 町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たフィフスタイルと食習情 ②小児病体・外来看護の一元化に伴う病体看護師の体験へ外来看護に対する戸惑い〜 ③オイチンゲール看護の倫理性とその2 1 C N 倫理綱側とのつたがりについて〜 ③音識師を志望する高校生の社会人基礎力と生活者是との関連 ②希望師を志望する高校生の社会人基礎力と生活者是との関連 ②希望師を立望する高校生の社会人基礎力と生活者是との関連	大学部会 看護学科	
②入院中のアルツハイマー型認知症高齢者の食事前の過ごし方が及ぼす食事への影響について ③地域に焦点を当てた精神看護学実習での学生の学習傾向 ④介護当事者である高齢男性が看護学生に語った説々介護へ6年4ヶ月にわたる介護体験に関する語りの分析~ ⑤地域生活を送る精神疾患をもつ人の睡眠障害に関する研究 ⑥文献にみるフルタイム者護師のワーク・ライフ・バランス ⑦育児と親の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連 ⑥太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ⑩者護師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴 ⑩文観の育児・家事参加と母観の育児ストレスと抑うつとの関連 ⑥アフリカにおける高齢化予測とケアの実際~セネガル、エチオビアの事例から~ ⑫看護基礎教育における機能患者を活用した教育効果の検討~口腔ケア演習を通して(第1報)~ ⑥を在毛度度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ⑪ 名削用療法を経て3剤併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑩者諸基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑥先駆的選択制実習の成果~指導保健師へのインタビューからへ ⑩者護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や高齢 ⑩女大高校生の子宮頸が八千防行動に関する母養の ⑩女子高校生の子宮頸が八千防行動に関する母養の診験と態度 ⑩音年期統合失調症の早期介入に関する母養の診験と態度 ⑩音中期統合失調症の早期介入に関する母養の変捷について ⑫病質とともに生きる人のブログにおける看護・者護師に関する記述の分析 ⑫希市郊外系町における65歳以上在宅高齢者の知的能動性得が別に見たライフスタイルと食習慣 ⑫小児病棟・外来看護の一元化に伴う病様看護のの独物と外来看護に対する戸惑いへ ⑤かイチンゲール看護の他性やその2 I C N 倫理郷領とのつながりについて~ ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活習景との関連 ⑫音が聴る主望する高校生の社会人基礎力と生活習景との関連	テーマ: 平成 29 年度 教育研究報告	
②地域に焦点を当てた精神看護学実習での学生の学習傾向 ②介護当事者である高齢男性が看護学生に語った浪々介護へ6年4ヶ月にわたる介護体験に関する語りの分析~ ③地域生活を送る精神疾患をもつ人の睡眠障害に関する研究 ④文献にみるフルタイム看護師のワーク・ライフ・バランス ⑦育児と親の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連 ③太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ④看護師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴 ④父親の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ④アフリカにおける高齢化予測とケアの実際・セネガル、エチオピアの事例から~ ④看達基礎教育における複談患者を活用した教育効果の検討~口腔ケア演習を通して(第1報)~ 値在で重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ④2利併用療法を経て3利併用療法の開始に至ったC型肝疾患者の意思決定プロセスとその時期の思い ・ ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑥先駆的選択制実習の成果~指導保健師へのインタビューから~ ⑥看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や哀廉 ⑤安子高校生の子宮頭がル予防行動に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のプログにおける看護、看護師に関する記述の分析 ②郷市郊外A町における65歳以上在定高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習情 ②小児病情・外来看護の一元化に伴う病練者診師の体験へ外来看護に対する戸恋い ⑤サイチンゲール看護の価理性~その2 ICN倫理機関とのつながりについて~ ②看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②音響職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み~介護保険サービス15種に勤務する看護職を対象に~	①若者のひきこもりに関する研究	
②介護当事者である高齢男性が看護学生に語った液々介護へ6年 4 ヶ月にわたる介護体験に関する語りの分析へ ③地域生活を送る精神疾患をもつ人の睡眼障害に関する研究 ④文献にみるフルタイム看護師のワーク・ライフ・パランス ①育児と親の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連 ⑥太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ④看護師を恋望する高校生の社会人基礎力の特徴 ⑥父親の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ①アフリカにおける高齢化予測とケアの実際〜セネガル、エチオピアの事例から〜 ②看護基礎教育における腐齢化予測とケアの実際〜セネガル、エチオピアの事例から〜 ②看護基礎教育における腐齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ④ 2利併用療法を経て3剤併用療法の関始における家族介護者の負担に関連する要因 ⑤ 保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥ 看護基礎教育におけるリンピリテーション看護教育の現状と課題 ⑥ 先郷的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑥ 香養者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑥ 今子高校生の子宮頸が人予防行動に関する母親の認識と態度 ② 青年期終合失調症の早期介入に関する母親の認識と態度 ② 音年期終合失調症の早期介入に関する母親の認識と態度 ② 音子期終合失調症の早期介入に関する母親の認識と態度 ② 音子期終合失調症の早期介入に関する母親の認識とともに生きる人のプログにおける音達・看護師に関する記述の分析 ② 郷南東外名町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ② 小児病様・外来看護の一元化に伴う病様看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ③ オイチンゲール看護の倫理性〜その2 I C N 倫理綱領とのつながりについて〜 ③ 看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ② 看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連	②入院中のアルツハイマー型認知症高齢者の食事前の過ごし方が及ぼす食事への影響について	
語りの分析~ ③ 地域生活を送る精神疾患をもつ人の睡眠降害に関する研究 ⑤ 文献にみるフルタイム看護師のワーク・ヲイフ・バランス ⑦ 育児と親の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連 ③太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ④ 看護師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴 ⑩文製の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ⑪ アフリカにおける高齢化予測とケアの実際〜セネガル、エチオビアの事例から〜 ③ 看護基礎教育における模擬患者を活用した教育効果の検討〜口腔ケア演習を通して(第1報)〜 ③ 在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ④ 2 剤併用療法を経て3 剤併用療法の関始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑤先郎の選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑤看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑤先郎の選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑥香養者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や密藤 ⑤女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ③ 青年期統合失調症の早期介人に関する研究 ② 原気 レともに生きる人のブログにおける香護・看護師に関する記述の分析 ② 衛市年外入町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動作得点別に見たライフスタイルと食習慣 ② 小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑤ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN 価理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ② 看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ② 看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ② 看護師のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ② 破災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の関始時期に焦点をあるてで〜	③地域に焦点を当てた精神看護学実習での学生の学習傾向	
③地域生活を送る精神疾患をもつ人の睡眠障害に関する研究 ③文献にみるフルタイム看護師のワーク・ライフ・バランス ②育児と観の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連 ③太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴 ④父観の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ④アフリカにおける高齢化下測とケアの実際〜セネガル、エチオピアの事例から〜 ②看護基歳敷育における模様患者を活用した教育効果の検討〜口腔ケア演習を通して(第1報)〜 ③在宅重度要介護高齢者の排除介護における家族介護者の負担に関連する要因 ④ 2剤併用療法を経て3剤併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑤看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑤先駆的選択刑実習の成果〜指導保健師〜のインタビューから〜 ③看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ③女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ②青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸恋い〜 ③オイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理網領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護願のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の関係時期に焦点をあてて〜	④介護当事者である高齢男性が看護学生に語った浪々介護~6年4ヶ月にわたる介護体験に関する	
③文献にみるフルタイム看護師のワーク・ライフ・バランス ①育児と親の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連 ③太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ⑨看護師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴 ⑩父親の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ⑪アフリカにおける高齢化予測とケアの実際〜セネガル、エチオピアの事例から〜 ⑫看護基礎教育における模様患者を活用した教育効果の検討〜口腔ケア演習を通して(第1報)〜 ⑬在密電度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ⑫ 2剤併用療法を経て3剤併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い 『原健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑩看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑤先駆的選択刑実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑱看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑥先駆的選択刑実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑱看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑩女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外△町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 @小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ②オチンゲール看護の倫理性〜その 2 I C N倫理綱領とのつながりについて〜 ⑤看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護順のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 『破災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の関係の関始時期に焦点をあてて〜	語りの分析~	
②育民と親の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連 ③太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴 ④父親の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ④アフリカにおける高齢化予測とケアの実際〜セネガル、エチオピアの事例から〜 ②看護基礎教育における機擬患者を活用した教育効果の検討〜口腔ケア演習を通して(第1 領)〜 ③在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ④ 2 利併用療法を経て3 利併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑥先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑧看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑨女子高校生の子宮頭がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑨青年期統合失調症の早期介人に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ③都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ④小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑤ナイチンゲール看護の倫理性〜その 2 ICN倫理和領とのつながりについて〜 ⑥看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護師のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成へ関係の開始時期に焦点をあてて〜	⑤地域生活を送る精神疾患をもつ人の睡眠障害に関する研究	
③太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力の特別 ⑩父親の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ⑪アフリカにおける高齢化予測とケアの実際〜セネガル、エチオピアの事例から〜 ⑫看護基礎教育における模擬患者を活用した教育効果の検討〜口腔ケア演習を通して(第1報)〜 ⑫在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ⑪ 2 利併用療法を経て3 利併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の 思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑩看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑰先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑩看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑰先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑩看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑪女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外名町における65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑤ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ②破災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	⑥文献にみるフルタイム看護師のワーク・ライフ・バランス	
 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴 ⑪父親の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ⑪アフリカにおける高齢化予測とケアの実際~セネガル、エチオビアの事例から~ ⑫看護基礎教育における模擬患者を活用した教育効果の検討へ口腔ケア演習を通して(第1報)~ ⑬在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ⑭ 2 剤併用療法を経て3 剤併用療法の開始に至った C型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑮保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑯看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑰先駆的選択制実習の成果~指導保健師へのインタビューから~ ⑱看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑭女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ⑪医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ⑫病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ⑫布郊とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ⑫布郊外A町における65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ⑫小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験~外来看護に対する戸惑い~ ⑤ナイチンゲール看護の倫理性~その2 ICN倫理綱領とのつながりについて~ ⑤看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護師のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み~介護保険サービス 15種に勤務する看護職を対象に~ ③密で、の場外に関係の開始時期に焦点をあてて~ 	⑦育児と親の介護の両方を担う女性の健康感と育児ストレス及び介護の認知的評価との関連	
 ⑩父親の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連 ⑪アフリカにおける高齢化予測とケアの実際・セネガル、エチオピアの事例から~ ⑫看護基礎教育における模擬患者を活用した教育効果の検討へ口腔ケア演習を通して(第1報)~ ⑬在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ⑭ 2 剤併用療法を経て3 剤併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑮保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑯看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑰先駆的選択制実習の成果~指導保健師へのインタビューから~ ⑱看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や簒藤 ⑭女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期総合失調症の早期介入に関する研究 ⑫医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ⑫病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ⑫布郊外A町における65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 @小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験へ外来看護に対する戸惑い~ ⑩ナイチンゲール看護の倫理性~その2 ICN倫理綱領とのつながりについて~ ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を記する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み~介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象と認識 ⑩を持事を持事するための行動指針の作成へ関係を構築するための行動指針の作成へ関係を構築するための行動指針の保険を構築するための行動指針の保険を構築するための行動指針の保険を構築するための行動に関すると関すると思いとないまます。 	⑧太っていないのに太っていると思っていることといじめられた経験の関係について	
①アフリカにおける高齢化予測とケアの実際〜セネガル、エチオピアの事例から〜 ②看護基礎教育における模擬患者を活用した教育効果の検討〜口腔ケア演習を通して(第1報)〜 ③在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ④2剤併用療法を経て3剤併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑦先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑥看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑥女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ②青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ③ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス15種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	⑨看護師を志望する高校生の社会人基礎力の特徴	
②看護基礎教育における模擬患者を活用した教育効果の検討~口腔ケア演習を通して(第1報)~ ③在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ④ 2 剤併用療法を経て 3 剤併用療法の開始に至った C型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑦先駆的選択制実習の成果~指導保健師へのインタビューから~ ⑥看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や養藤 ⑥女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ②青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ③ナイチンゲール看護の倫理性〜その 2 I C N 倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	⑩父親の育児・家事参加と母親の育児ストレスと抑うつとの関連	
③在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因 ④ 2 剤併用療法を経て3 剤併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑩看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑦先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑩看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑪女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑤ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	⑪アフリカにおける高齢化予測とケアの実際~セネガル、エチオピアの事例から~	
 ⑩2剤併用療法を経て3剤併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の思い ⑩保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑩看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑪先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑱看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑲女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑳青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ⑳小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑤ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ⑤看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス15種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜 	⑫看護基礎教育における模擬患者を活用した教育効果の検討~口腔ケア演習を通して(第1報)~	
思い ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑦先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑧看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑩女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ②青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ③小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑤ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	③在宅重度要介護高齢者の排泄介護における家族介護者の負担に関連する要因	
 ⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識 ⑥看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑦先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑥看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑨女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ⑩医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ⑫病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ⑩小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑤ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ⑤看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15種に勤務する看護職を対象に〜 ⑥被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜 	④2剤併用療法を経て3剤併用療法の開始に至ったC型肝炎患者の意思決定プロセスとその時期の	
 ⑩看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 ⑪先駆的選択制実習の成果〜指導保健師へのインタビューから〜 ⑱看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑲女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑳青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ㉑医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ㉓都市郊外A町における 65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ㉓小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ㉓ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ⑯看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜 	思い	
 ⑩先駆的選択制実習の成果~指導保健師へのインタビューから~ ⑱看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑩女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ⑪医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ⑫病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑤ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜 	⑤保健師が受ける住民からの苦情やクレームへの対応と認識	
 ®看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤 ⑩女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ⑪医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ⑫病気とともに生きる人のプログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ⑭小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑩ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑩看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15種に勤務する看護職を対象に〜 ◎被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜 	⑥看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題	
 ⑨女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度 ⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ⑪医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ⑫病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ⑫都市郊外A町における 65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ⑭小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ⑮ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ⑰看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15種に勤務する看護職を対象に〜 ⑩被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜 	⑰先駆的選択制実習の成果~指導保健師へのインタビューから~	
②青年期統合失調症の早期介入に関する研究 ②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ③ナイチンゲール看護の倫理性〜その 2 I CN倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ③被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	®看護者が不妊症患者と関わる中で感じる困難や葛藤	
②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について ②病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ③ナイチンゲール看護の倫理性〜その 2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15種に勤務する看護職を対象に〜 ②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	⑩女子高校生の子宮頸がん予防行動に関する母親の認識と態度	
②病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析 ②都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ③ナイチンゲール看護の倫理性〜その 2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	⑩青年期統合失調症の早期介入に関する研究	
②都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣 ②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ③ナイチンゲール看護の倫理性〜その 2 I C N倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	②医療的ケアが必要な子どもを育てる母親の支援について	
②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜 ②ナイチンゲール看護の倫理性〜その2 ICN倫理綱領とのつながりについて〜 ③看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み〜介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に〜 ②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	②病気とともに生きる人のブログにおける看護・看護師に関する記述の分析	
②ナイチンゲール看護の倫理性~その2 I CN倫理綱領とのつながりについて~ ②看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連 ②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み~介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に~ ②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成~関係の開始時期に焦点をあてて~	②都市郊外A町における 65 歳以上在宅高齢者の知的能動性得点別に見たライフスタイルと食習慣	
適看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み~介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に~②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成~関係の開始時期に焦点をあてて~	②小児病棟・外来看護の一元化に伴う病棟看護師の体験〜外来看護に対する戸惑い〜	
②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み~介護保険サービス 15 種に勤務する看護職を対象に~ ②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成~関係の開始時期に焦点をあてて~	②ナイチンゲール看護の倫理性~その2 ICN倫理綱領とのつながりについて~	
を対象に~ ②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成~関係の開始時期に焦点をあてて~	⑩看護師を志望する高校生の社会人基礎力と生活背景との関連	
②被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	②看護職のエンプロイアビリティ測定尺度作成の試み~介護保険サービス 15 種に勤務する看護職	
動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	を対象に~	
	※被災地の復興期にアウトリーチ活動に携わる看護職が仮設住宅住民との関係を構築するための行	
御胎児のQOL向上のための胎教	動指針の作成〜関係の開始時期に焦点をあてて〜	
	図胎児のQOL向上のための胎教	

大学部会 リハビリテーション学科

テーマ:平成29年度 教育研究報告

- ①見学実習における他職種連携教育に対する意識と社会的スキルの変化に関する検討 \sim R I P L S と K i s s 18 による評価 \sim 第 3 報
- ②虚弱高齢者に対する理学療法的戦略
- ③介助者による介助の経時的変化に基づいた介助評価方法の検討
- ④自閉スペクトラム症児における筋力と筋パワーの測定「握力」、「立ちしゃがみ所要時間」による支援効果評価 の可能性
- ⑤ヒト孤束核の性差についての研究
- ⑥足部接地ランニングの運動学的分析
- ⑦3年次選択必修科目「ウーマンズヘルスケア」教授法の工夫と達成度について
- ⑧心疾患患者の運動耐容能に関わる身体運動機能指標の相互関係
- ⑨大学女子サッカー選手の競技力向上を目指して~栄養素摂取状況調査と栄養指導による改善効果~
- ⑩高齢者での棘上筋腱、肩峰下滑液包と上腕二頭筋長頭腱の肥厚変化
- ⑪「平成28年度熊本地震」災害リハビリテーション支援活動報告
- ⑩維持期脳血管疾患におけるエンドエフェクター型歩行補助ロボットの効果検証
- ⑬地域生活STATチェックリストの開発~医療観察法対象者の退院時の地域との情報共有~
- ④重度麻痺手に対するCIセラピーの効果
- ⑤地域高齢者は音楽をどのように捉えているのか
- ⑯川崎就労定着プログラム(通称K-STEP)の取り組み
- ⑪高次脳機能障害者自立生活アシスタント事業による地域生活支援
- ⑱本学「留年学生」に対する学修支援方法の検討
- ⑩東京都における電動車いすの判定状況~不適要因の検討~
- ②発達障害児・者の認知的、運動学的な諸課題に関する基礎的研究~脊髄性筋委縮症(SMA)の
- SMN転写産物の検討(2)~
- ②ダーツスローモーション可動域測定の再現性
- ②地域生活する男性脳卒中障害高齢者の作業適応と人間関係の変容プロセス

教育部会				
テーマ:学習理解度を高める工夫を考える				
①AO入試の合格者数決定について	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校			
②入試の成績と入学後の成績の関連性について	下田看護専門学校			
③myトレーニングによる基礎学力向上についての試み	医療ビジネス観光情報専門学校			
④入学前教育の効果について	茅ヶ崎看護専門学校			
⑤平成29年度国試対策について〜学生の傾向に合わせた取り組み〜	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校			
⑥看護師国家試験対策について	下田看護専門学校			
⑦朝学習の効果	医療ビジネス観光情報専門学校			

⑧保護者を含めた国家試験対策	茅ヶ崎看護専門学校
⑨通信制社会福祉士養成カリキュラムの改訂の方向性	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
⑩就職意識向上の取り組み	医療ビジスス観光情報専門学校
⑪オープンキャンパスにアクティブラーニングを取り入れた効果	茅ヶ崎看護専門学校
⑫看護師実習指導者講習会の教育課程と受講生の学び	学園本部
⑬臨地実習指導者・教員合同研修会における効果の検証	茅ヶ崎看護専門学校
④今どきの学生のお財布事情	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
⑮ネオ・デジタルネイティブに対する授業方略についての一考察	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
⑯ハラスメントとは	茅ヶ崎看護専門学校
⑪リメディアル教育の動向とPT/OT指定規則改定の方向性	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
18健常成人における歩行中の足関節背屈運動と前足部足底負荷量との関連	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
⑲言語聴覚士の歴史	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
@現場で求められる問題解決能力	
②なぜPBL(問題解決学習)が求められるのか?	

保育部会						
テーマ:乳幼児の健康管理について考える~平成29年度の活動報告~						
①突然死症候群・感染症対策及び拡大防止策・環境整備と衛生管理 食物アレルギー対応など	DVD					
②こどもの主体性を育てる保育について	教諭					
③リスクマネージメントについて (子どものけがや発熱、窒息の対応)	教諭					
④感染予防への取り組みについて	教諭					
⑤虐待研修に参加して	主任					
⑥災害時の備えについて	教諭					
⑦子どもの表現を豊かにするために	教諭					
⑧自閉症スペクトラム障害の理解	教諭					
⑨集団感染予防	教諭					
⑩食について	教諭					
①食物アレルギー対応	教諭					
⑩新任教員として学んだこと	教諭					
③保育現場における安全対策について	教諭					
④保育所・保育指針の改訂ポイント	教諭					
⑤予防接種について	教諭					
⑥幼稚園教育要領改訂を踏まえて環境について考える	教諭					
① 感染症・衛生管理・食物アレルギーについて	主任					

V 地域連携・交流活動

行事名	日時	場所	概要
公開講座開催	第1回 4月22日(土)	湘南医療大学	腰痛をほったらかしにしない
(全5回開催)	第2回 7月22日(土)	湘南医療大学	パラスポーツってどんなの?
	第3回 8月 5日(土)	湘南医療大学	みんなで考えよう子どもの事故!
	第4回11月 4日(土)	湘南医療大学	脳に人工知能をつなぐ時代へ
	第5回 2月 3日(土)	湘南医療大学	「めまい」との付き合い方
ヨコハマ大学まつり	平成 29 年 9 月 30 日	みなとみらい21地	主催:ヨコハマ大学まつり実行委員会(横浜
	~10月1日	区クイーンズスク	市内 30 大学)
		エア横浜周辺	共催:大学・都市パートナーシップ協議会、
			横浜市
			協力:一般社団法人横浜みなとみらい21
			協賛:クイーンズスクエア横浜
			内容:「大学・都市パートナーシップ協議会
			の各大学が一堂に集まり、最先端の教育研究 内容と学生のパワーを活かして、みなとみら
			い 21 地区から市域全体に新たな魅力の発信
			を図るとともに、市民の皆様にもっと大学を
			知っていただき、身近に感じていただく。」
			の趣旨のもとに実施している。2回目の参加
			となる今回は、昨年と同様に体験教室とキャ
			リア教育講座に参加した。
			①「看護師ってグローバル人材!」(看護
			学、学生1名)
			②「作業療法ちょこっと体験!~ひとは作業
			することで元気になれる~」(リハビリ
			テーション学科、学生5名)
			参加者: ①21 名 ②15 名
第 3 回 湘南医療大	平成 29 年 11 月 3 日	湘南医療大学	主催:湘南医療大学 大学祭実行委員会
学大学祭	~11月4日		テーマ:地域、保護者、高校生の皆様に、学修
			の成果やサークル活動の様子の紹介に授業
			で修得した知識・技術を生かした内容を加え
			開催しました。
-1- 22-1-2 min 312 (1- m/	# 1 E 0 E 00 E (A)	Mudden et 1 224	参加者:635名
中学校職業体験	第1回 9月22日(金)	湘南医療大学	主催:湘南医療大学
	第2回11月10日(金)	湘南医療大学	共催:横浜市戸塚区役所地域振興課
	第3回11月28日(火)	湘南医療大学	内容:戸塚区役所からの要請を受けて、近隣の中学校(無関中学校 名類中学校 名類中学校 お葉中
	第4回 1月17日(土) 第5回 2月 3日(土)	湘南医療大学 湘南医療大学	の中学校(舞岡中学校、名瀬中学校、秋葉中学校、南戸塚中学校、左近山中学校)に対し、
	知り凹 4月 3日(上)	(個用区)原八子	子校、開戸塚中子校、左近山中子校)に対し、 大学見学及び体験授業を行った。
			大子兄子及の怪橛投業を行うた。 参加者:13名
			沙川 徂 . 13 泊

VII 生涯学習事業

学校法人湘南ふれあい学園ふれあい医療福祉研修センター 平成29年度事業報告

系統	介護系							
事業名	介護職員初任者研修(通 信併用)	介護福祉士 実務者研修	喀痰吸引等研修	喀痰吸引等研修 (実地研修のみ)	介護福祉士国家試験 対策講座	ケアプラン 作成クラス	医療的ケア 教員講習会	
期日	第1回: H29.5.25~9.14 第2回: H29.11.9~ H30.3.21 町田校学生対象: H29.7.14~H30.1.26	H29. 2. 1∼7. 31 H29. 7. 1∼12. 31 H30. 2. 1∼7. 31	【延期】 随時 H2		H29.11.2、11.13、11.20	H29. 9. 28、10. 5	H30. 1. 22	
日数	17日 (講義15日、実習 2日)	6ヶ月間	10日(講義8日、演習1 日、実習1日)	1日	3日	講義2日	1 ⊞	
48,795	講義:茅ヶ崎『ハピ『 〒デリ3 専門学校 実習:湘南シルバー ガーデンほか	看護専門学校	講義:茅ヶ崎リハビリ テーション専門学校 演習:茅ヶ崎リハビリ テーション専門学校 実習:茅ヶ崎新北陵 病院ほか	茅ヶ崎新北陵病院ほか	茅ヶ崎リハピリテーション 専門学校	茅ヶ崎リハピリテーション 専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション 専門学校	
受講料	60,000円 (テキスト代込)	無資格者: 125,000円 初任者研修: 105,000円 基礎研修: 30,000円 (全てテキスト代込)	100,000円 (テキスト代別)	50,000円 (テキスト代別)	グループ職員:3,500円 グループ外職員:3,800 円	3,000円	3,000円 (テキスト代込)	
定員	20名×3	30名×3	15名	5名	15名	15名	6名	
受講人数	第1回:15名 第2回:17名 町田校:10名	H29. 2月開講: 28名 H29. 7月開講: 21名 H30. 2月開講: 19名	-	8名	24名	16名	4名	
取得資格	介護職員初任者研修	介護福祉士国家試験 受験資格	喀痰吸引等研修修了	喀痰吸引等研修修了	-	-	医療的ケア 教員講習会修了	
合格率	-	80.6% (全国平均70.8%)	-	-	-	-	_	
助成金								

系統	看護系			社会社	事務系			
事業名	看護師実習指導者 講習会	認知症看護研修	社会福祉専攻科 (通信)	社会福祉士 実習指導者講習会	社会福祉士国家試験対策講 座	ケアマネ試験対策 講座	医療事務講座 (初級)	医療事務講座 (中級)
実施主体	研修センター	研修センター	茅ヶ崎リハピリテーション専門学校附帯 事業	研修センター		研修センター	研修センター	研修センター
開始時期	H27∼	H28∼	H10∼	H27∼		H26∼	H25∼	H25∼
申請先	厚生労働省	関東信越厚生局	神奈川県	関東信越厚生局		-	-	-
期日	H29. 8. 1~11. 21	H29. 9. 4∼5	毎年4月~ 翌年9月末	H30. 2. 24、3. 10	H29. 8∼H30. 1	H29. 8. 4、9. 15	H29.7~11	H29. 10∼H30. 2
日数	250時間	2日	1年6ヶ月	2日	9日	2日	5ヶ月	12日
場所	湘南医療大学	湘南医療大学	茅ヶ崎リハビリテーション 専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション 専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション 専門学校	茅ヶ崎『ハビリテーション 専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
受講料	80,000円 (テキスト代別)	6,000円	350,000円 (テキスト代別)	8,000円 (テキスト代別)	12,000円	3,000円	30,000円 (テキスト代込)	37,500円 (テキスト代込)
定員	40名	20名	80名	20名	30名	20名	25名	20名
H28実績	24名	19名	80名	10名	新規	13名	29名	11名
受講人数	19名	38名	1年生:61名 2年生:56名	10名	21名	11名	21名	13名
取得資格	看護師実習指導者講習会修 了	認知症看護研修修了	社会福祉士国家試験受験資 格	社会福祉士実習指導者講習 会修了	-	-	ふれあい医療事務管理士 (初級)	ふれあい医療事務管理士 (中級)
合格率	-	-	48.8% (全国平均30.2%)	-	-	10% (全国平均 21.5%)	-	-
助成金								人材開発支援 助成金適用

初任者研修の開催回数を見直し、年間2回、週1回のスクリーングとして、働いている方が受講しやすい日程としたところ、定員の7割以上の受講数となった。引き続き、ふれあいグループ職員への受講促進活動や、地域での広報活動を続け、平成30年度は定員充足できるようにする。

介護福祉士実務者研修は2年目で国家試験受験者が31名合格者25名合格率80.6%(全国平均70.8%)とすることができた。平成30年度は年間3回開講(90名定員)となるので、引き続き、受講生の支援体制として、国家試験対策講座も併せて開講する。

看護系研修は、日本看護協会より認定看護師養成課程(認知症看護分野)としての認可を受け、 平成30年度から開講することとなった。

学校法人湘南ふれあい学園 規程一覧

〇共通 平成30年3月31現在

No.	規程名	制定日	直近改正日
1	就業規則	H3.4.1、実施	H29.1.1、一部改正
2	就業規則(非常勤職員)	H16.12.16、実施	H29.1.1、一部改正
3	慶弔金規程	H4.1.4、実施	H25.1.1、一部改正
4	非常勤講師に関する規程	H27.4.1、制定	
5	教職員給与規程	H6.1.1、実施	H29.9.16、一部改正
6	退職金規程	H3.3.4、実施	H26.4.1、一部改正
7	役員報酬規程	H27.4.1、制定	
8	役員退職金支給規程	H27.4.1、制定	
9	育児休業規程	H4.4.1、適用	H29.1.1、一部改訂
10	介護休業規程	H15.9.1、適用	H29.1.1、一部改訂
11	事務組織及び事務分掌に関する規程	H26.4.1、制定	H27.4.1、一部改正
12	顧問規程	H26.4.1、制定	
13	稟議規程	H26.4.1、制定	
14	監事監査規程	H6.4.1、制定	
15	内部監査規程	H27.4.1、制定	
16	経理規程	H16.4.1、施行	H28.4.1、一部改正
17	寄附金等取扱規程	H25.10.10、制定	H25.10.10、一部改正
18	資産運用規程	H22.4.1、制定	
19	国内出張旅費規程	H17.10.1、施行	H29.4.1、一部改正
20	赴任旅費支給規程	H17.5.1、制定	
21	学会・研修会等参加規程	H27.4.1、制定	H29.11.1、一部改正
22	固定資産及び物品管理規程	H26.4.1、制定	
23	公印取扱規程	H26.4.1、制定	
24	文書管理規程	H22.4.1、施行	H26.4.1、一部改正
25	文書取扱規程	H24.4.1、施行	H26.4.1、一部改正
26	図書管理規程	H27.4.1、制定	
27	個人情報管理規程	H17.4.1、施行	H29.7.19、一部改正
28	情報公開規程	H17.4.1、施行	H27.4.1、一部改正
29	公益通報に関する規程	H27.4.1、制定	
30	室田寮規程	H27.4.1、制定	
31	セクシャルハラスメントに関する規程	H21.2.1、制定	
32	講演、寄稿等の職員外部活動規程	H20.8.1、制定	
33	看護師養成所専任教員養成講習会受講資金貸与規則	H24.4.1、施行	H26.4.1、一部改正
34	看護教員研修貸付金制度規程	H20.12.1、制定	
35	転校等に伴う入学検定料・入学金免除規程	H20.3.28、制定	
36	湘南ふれあい学園 学生慶弔見舞規程	H17.8.31、制定	H27.11.25、一部改正
37	名刺管理規程	H28.7.1、施行	
38	貸室利用規程	H29.1.1、制定	
39	実習謝礼金支払規程	H29.1.1、制定	
40	非常勤講師報酬等規程	H29.1.1、制定	

私立大学等総合改革支援事業

タイプI「建学の精神を生かした大学教育の質向上」

- 1 基本的事項に係る評価
- (1)全学的な教学マネジメント体制の構築
 - 1 ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー及びアドミッションポリシーの点検・評価
 - 2 学長を中心とした全学的な教学マネジメント体制の構築
 - 3 IR担当部署の設置及び専任の教職員の配置
 - 4 SDの取組状況
- (2)教育の質向上に関するPDCAサイクルの確立
 - 5 準備学習に必要な時間等のシラバスへの明記
 - 6 シラバスの記載内容の適正性について、担当教員以外の第三者によるチェックの実施
 - 7 学生の学修時間の実態及び学修行動の把握の組織的な実施
 - 8 学生による授業評価結果の活用
 - 9 教員の評価制度の設定
 - 10 FD実施のための組織(委員会等)の設置及び教員の参加状況
 - 11 アクティブ・ラーニングによる授業の実施

2 多様な取組に関する評価

- 12 履修系統図又はナンバリングの実施
- 13 オフィスアワーの設定
- 14 GPA制度の導入、活用
- 15 学生の学修成果の把握
- 16 1年間あるいは1学期間に履修科目登録ができる単位数の上限の設定
- 17 学内の教育改革に取り組む教員又は組織(学部等)を財政的に支援するための予算の設定
- 18 大学ポートレートで発信する情報の検討・見直しの実施

3 高大接続改革の推進

- 19 アドミッション・ポリシーにおける求める学生像の明示
- 20 能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施
- 21 入学者選抜体制の充実強化
- 22 多様な背景を持つ受験者の受け入れ
- 23 高等学校教育と大学教育の連携強化

VⅢ 施設の状況

平成30年3月現在 学校法人所有施設の所在等

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地・学校名	校地(㎡)	施設等	面積(m²)	摘要	
横浜市戸塚区汲沢2丁目26番14号	2,306.00	園舎	1,176.69	自己所有	
幼保連携型認定こども園みどり幼稚園					
茅ケ崎市今宿390番地	1,477.64	校舎	2,893.32	自己所有	
茅ケ崎看護専門学校	,		,		
茅ケ崎市南湖1丁目6番11号	3,752.04	校舎	5,725.54	自己所有	
茅ケ崎リハビリテーション専門学校	3,132.01	. C I	3,123.31		
相模原市南区上鶴間本町3丁目18番27号	1,106.50	校舎	4,360.56	自己所有	
医療ビジネス観光情報専門学校	1,100.00	70.0	4,000.00	1 3// 13	
下田市柿崎289番地	5,538.78	校舎	4,982.12	自己所有	
下田看護専門学校	9,990.76	学生寮	4,002.12	日日別有	
横浜市戸塚区上品濃16番18号	7,921.66	校舎	14,287.79	校地 (自己所有/一部借地)	
湘南医療大学	1,021.00	(人) 百	14,201.18	校舎 (自己所有/一部借用)	

主な施設設備の取得は次のとおりである。

湘南医療大学 校地 597,000 千円 (7,921.66m²)

IX 財務状況

(1)決算の概要

○貸借対照表の状況

総資産額は、11,696 百万円で前年度に対して 486 百万円の増加、負債総額は 2,934 百万円で前年度に対して 64 百万円の減少となりました。総資産額の増加は、湘南医療大学に隣接する校地の取得及び学園各校校舎の減価償却など有形固定資産の増加、並びに現預金 202 百万円などの流動資産の増加によるものです。

負債額の減少は、長期借入金返済による固定負債の減少並びに学生数増加に伴う前受金増加による 流動負債の増加によるものです。尚、負債額(前受金を除く)の総資産額に占める割合は、14.82% です。

○資金収支計算書

収入の部:学生生徒等納付金収入は、湘南医療大学の学年進行による学生数の増加により前年度に対して約276百万円増収の約2,074百万円となりました。また、寄付金収入は、教育環境整備補等充実資金として65百万円、受配者指定寄附金として、305百万円の受入れによる増加です。以上の要因により、資金収入の合計は、6,101百万円となりました。

支出の部:人件費支出は、湘南医療大学の年次進行による教職員の増加及びみどり幼稚園の認定こども園移行による教員の増加分で、1,208 百万円となりました。また、教育研究経費支出は、人件費支出の増加に連動し、前年に対して 45 百万円増加し 456 百万円となりました。管理経費支出は、前年に対して若干の増加となり、266 百万円となりました。

翌年度繰越支払資金:上記の結果、法人全体として翌年度繰越支払資金は、3,277 百万円となり、 期首に比べて 203 百万円増加となりました。

○事業活動収支計算書

事業活動収入:学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、事業収入、雑収入等は、資金収支計算書収入の部と同様の要因により、2,810百万円となり、前年度に対して530百万円の増加となりました。基本金組入額合計は、大学校地の購入、年次計画による大学の校舎・備品等の組入と借入金返済に伴う組入により832百万円となりました。よって、基本金組入前当年度収支差額(帰属収入)は、550百万円の収入超過となりました。

事業活動支出:資金収支計算書の支出の部と同様の要因で、前年度に対して人件費は、92 百万円の増加で 1,217 百万円となりました。また、教育研究経費は、前年度に対して 55 百万円の増加で 717 百万円、管理経費は、前年度に対して 14 百万円の増加となり、294 百万円となりました。

<u>当年度収支差額</u>:大学校地購入による基本金組入額が大きくなりましたので、当年度収支差額は、 282 百万円の支出超過となりました。

(2)経年比較

①貸借対照表 (単位:円)

				(1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	28-29年度比
固定資産	7, 697, 166, 872	7, 641, 192, 048	8, 011, 782, 935	370, 590, 887
流動資産	3, 159, 400, 019	3, 568, 487, 677	3, 684, 283, 050	115, 795, 373
資産の部合計	10, 856, 566, 891	11, 209, 679, 725	11, 696, 065, 985	486, 386, 260
固定負債	1, 625, 728, 098	1, 537, 468, 492	1, 444, 027, 607	▲ 93, 440, 885
流動負債	1, 192, 543, 123	1, 460, 487, 006	1, 489, 908, 193	29, 421, 187
負債の部合計	2, 818, 271, 221	2, 997, 955, 498	2, 933, 935, 800	▲ 64, 019, 698
基本金の部合計	8, 373, 967, 900	8, 529, 180, 031	9, 361, 488, 426	832, 308, 395
翌年度繰越収支差額の部合計	▲ 335, 672, 230	▲ 317, 455, 804	▲ 599, 358, 241	▲ 281, 902, 437
純資産の部合計	8, 038, 295, 670	8, 211, 724, 227	8, 762, 130, 185	550, 405, 958
負債の部、基本金の部及び消費収支 差額の部合計	10, 856, 566, 891	11, 209, 679, 725	11, 696, 065, 985	486, 386, 260

②収支計算書 ア 資金収支計算書 (単位:円)

/ 貝亚以入川丹甘				(十四・11)
収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	28-29年度比
学生生徒等納付金収入	1, 504, 493, 878	1, 798, 457, 830	2, 074, 756, 435	276, 298, 605
手数料収入	73, 219, 940	51, 049, 944	52, 377, 840	1, 327, 896
寄付金収入	79, 200, 660	85, 000, 000	370, 380, 000	285, 380, 000
補助金収入	130, 787, 329	231, 902, 885	212, 907, 900	▲ 18, 994, 985
資産売却収入	0	0	2, 368, 000	2, 368, 000
付随事業・収益事業収入	77, 336, 263	59, 469, 015	46, 361, 135	▲ 13, 107, 880
受取利息・配当金収入	513, 412	106, 113	108, 474	2, 361
雑収入	34, 509, 856	50, 985, 646	46, 766, 326	▲ 4, 219, 320
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	962, 347, 000	1, 076, 050, 500	1, 200, 088, 670	124, 038, 170
その他の収入	341, 395, 453	47, 357, 483	134, 846, 955	87, 489, 472
資金収入調整勘定	▲ 854, 698, 759	▲ 1,092,760,471	▲ 1, 113, 996, 345	▲ 21, 235, 874
前年度繰越支払資金	2, 550, 453, 469	2, 776, 746, 230	3, 074, 205, 934	297, 459, 704
収入の部合計	4, 899, 558, 501	5, 084, 365, 175	6, 101, 171, 324	1, 016, 806, 149

支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	28-29年度比
人件費支出	1, 012, 347, 576	1, 117, 091, 736	1, 207, 817, 184	90, 725, 448
教育研究経費支出	298, 448, 099	410, 497, 540	455, 796, 671	45, 299, 131
管理経費支出	251, 811, 264	252, 922, 119	265, 994, 237	13, 072, 118
借入金等利息支出	41, 575, 388	38, 537, 136	28, 057, 269	▲ 10, 479, 867
借入金等返済支出	103, 968, 536	103, 968, 536	81, 076, 402	▲ 22, 892, 134
施設関係支出	55, 771, 744	172, 169, 473	641, 671, 565	469, 502, 092
設備関係支出	143, 521, 054	37, 102, 830	18, 187, 553	▲ 18, 915, 277
資産運用支出	70, 210	60,000	4, 492, 425	4, 432, 425
その他の支出	343, 868, 822	119, 010, 412	268, 126, 765	149, 116, 353
資金支出調整勘定	▲ 128, 570, 422	▲ 245, 139, 127	▲ 147, 034, 090	98, 105, 037
翌年度繰越支払資金	2, 776, 746, 230	2, 923, 736, 608	3, 276, 985, 343	353, 248, 735
支出の部合計	4, 899, 558, 501	4, 929, 957, 263	6, 101, 171, 324	1, 171, 214, 061

イ 事業活動収支計算書(旧消費		亚合05年	亚子00左左	(単位:円)
収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	28-29年度比
教育活動収支 事業活動収入				
学生生徒等納付金	1, 504, 493, 878	1, 798, 457, 830	2, 074, 756, 435	276, 298, 60
手数料	73, 219, 940	51, 049, 944	52, 377, 840	1, 327, 89
寄付金	85, 798, 510	85, 113, 384	165, 276, 228	80, 162, 84
経常費等補助金	130, 787, 329	127, 679, 885	212, 907, 900	85, 228, 01
付随事業収入	62, 789, 228	55, 683, 895	43, 950, 590	▲ 11, 733, 30
雑収入	34, 509, 856	50, 950, 138	46, 744, 885	▲ 4, 205, 25
教育活動収入計	1, 891, 598, 741	2, 168, 935, 076	2, 596, 013, 878	427, 078, 80
教育活動外収支	1	<u> </u>	<u> </u>	
事業活動収入 受取利息・配当金	513, 412	106, 113	108, 474	2, 36
その他の教育活動外収入	14, 547, 035	3, 785, 120	2, 410, 545	▲ 1, 374, 57
教育活動外収入計	15, 060, 447	3, 891, 233	2, 519, 019	▲ 1, 372, 21
特別収支	10, 000, 111	0, 001, 200	2, 010, 010	_ 1,012,21
事業活動収入				
資産売却差額	0	0	2, 368, 000	2, 368, 00
その他の特別収入	0	106, 634, 531	209, 124, 056	102, 489, 52
特別収入計	0	106, 634, 531	211, 492, 056	104, 857, 52
支出の部 教育活動収支	平成27年度	平成28年度	平成29年度	28-29年度比
事業活動支出				
人件費	1, 021, 217, 076	1, 124, 777, 620	1, 216, 953, 084	92, 175, 46
教育研究経費	547, 023, 745	661, 929, 829	716, 639, 669	54, 709, 84
管理経費	278, 724, 074	280, 272, 039	294, 034, 188	13, 762, 14
徴収不能額	0	0	0	
教育活動支出計	1, 846, 964, 895	2, 066, 979, 488	2, 227, 626, 941	160, 647, 45
教育活動外収支 事業活動支出				
借入金等利息	41, 575, 388	38, 537, 136	28, 057, 269	▲ 10, 479, 86°
その他の教育活動外支出	0	0	0	1
教育活動外支出計	41, 575, 388	38, 537, 136	28, 057, 269	1 0, 479, 86
特別収支 事業活動支出	<u> </u>	<u> </u>		
資産処分差額	617, 112	515, 659	3, 934, 785	3, 419, 12
その他の特別支出	0	0	0	
特別支出計	617, 112	515, 659	3, 934, 785	3, 419, 120
	ll	ll	L	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	28-29年度比
教育活動収支差額	44, 633, 846	101, 955, 588	368, 386, 937	266, 431, 34
教育活動外収支差額	▲ 26, 514, 941	▲ 34, 645, 903	▲ 25, 538, 250	9, 107, 65
経常費差額	18, 118, 905	67, 309, 685	342, 848, 687	275, 539, 003
特別収支差額	▲ 617, 112	106, 118, 872	207, 557, 271	101, 438, 39
/ 7 / # # \				
(予備費)	0	0	0	050 055 40
基本金組入前当年度収支差額	17, 501, 793	173, 428, 557	550, 405, 958	376, 977, 40
基本金組入額合計	▲ 467, 271, 470	▲ 155, 212, 131	▲ 832, 308, 395	▲ 677, 096, 26
当年度収支差額	▲ 449, 769, 677	18, 216, 426	▲ 281, 902, 437	▲ 300, 118, 86
前年度繰越収支差額	111, 033, 306	▲ 335, 672, 230	▲ 317, 455, 804	18, 216, 42
基本金取崩額合計	3, 064, 141	0	0	
翌年度繰越収支差額	▲ 335, 672, 230	▲ 317, 455, 804	▲ 599, 358, 241	▲ 281, 902, 43
(参考)		Т	Т	
事業活動収入計	1, 906, 659, 188	2, 279, 460, 840	2, 810, 024, 953	530, 564, 11
事業活動支出計	1, 889, 157, 395	2, 106, 032, 283	2, 259, 618, 995	153, 586, 713

(3)主な財務比率比較

	区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
分 類	比率	算式(×100%)	(H28. 3. 31)	(H29. 3. 31)	(H30. 3. 31)
	負 債 率	総 貸 産	17.09%	17.15%	14.82%
財	純資産構成比率	純 資 產 総 資 產	74.04%	73.26%	74.929
	流動資産構成比率	流 動 資 産 総 資 産	29.10%	31.83%	31.509
務	流 動 比 率	流 動 負 債	264.93%	244.34%	247.289
状	固定長期適合率	固 定 資 産 純資産+固定負債	79.65%	78.38%	78.509
,	前受金構成比率	前 受 金 現 金 預 金	34.6%	35.0%	36.62
況	前 受 金 保 有 率	現 金 預 金 前 受 金	288.5%	285.6%	273.06
	繰越収支差額構成比率	성유 ## ID # # ##	-3.0%	-2.8%	-5.12
	経常経費依存率	事業活動支出学生生徒等納付金	125.57%	117.10%	108.91
経	人 件 費 依 存 率	人 件 費 学 生 生 徒 等 納 付 金	67.88%	62.54%	58.66
	借入金等利息比率	世 7	2.18%	1.69%	1.00
営	教育研究経費構成比率	教育研究経費事業活動収入	28.69%	29.04%	25.50
	事業活動支出比率	事業活動支出事業活動収入	99.08%	92.39%	80.41
状	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金事 業 活 動 収 入	78.91%	78.90%	73.83
	補 助 金 比 率	補	6.86%	5.60%	7.58
況	基本金組入率	基本金組入額事業活動収入	-24.51%	-6.81%	-29.62
	人件費比率	人 件 費 事業活動収入	53.56%	49.34%	43.31

資金収支計算書

平成29年 4月 1日から 平成30年 3月31日まで

収入の部			(単位:円)
科目	予 算		差 異
学生生徒等納付金収入	2,070,984,500	2,074,756,435	
授業料収入	1,300,280,000	1,301,401,670	
入学金収入	142,050,000	136,710,000	5,340,000
実験実習料収入	171,685,000	171,685,000	0,010,000
施設設備資金収入	393,757,500	392,757,500	1,000,000
暖房費収入	603,000	621,000	△ 18,000
諸費収入	1,300,000	57,230	1,242,770
基本保育料収入	37,200,000	40,232,035	
基本保育科収入	0	7,190,000	, ,
在籍料収入	1,080,000	1,110,000	△ 30,000
付属教育事業収入	23,029,000	22,992,000	37,000
手数料収入	48,332,000	52,377,840	△ 4,045,840
入学検定料収入 一入学検定料収入	37,294,000	39,856,000	\triangle 4,043,840 \triangle 2,562,000
試験料収入	9,925,000	11,208,000	△ 1,283,000
証明手数料収入	713,000	913,840	△ 1,283,000 △ 200,840
1-71120	·	•	,
実習費負担金収入	400,000	400,000	^ 1 000 000
寄付金収入 株型ませる収入	369,380,000	370,380,000	
特別寄付金収入	304,380,000	305,380,000	△ 1,000,000
一般寄付金収入	65,000,000	65,000,000	A F 212 000
補助金収入	207,595,000	212,907,900	
都道府県補助金収入	86,546,000	87,141,057	△ 595,057
市町村補助金収入	1,049,000	1,045,253	3,747
施設型給付費収入	120,000,000	124,721,590	△ 4,721,590
資産売却収入	2,300,000	2,368,000	△ 68,000
施設売却収入	2,300,000	2,368,000	△ 68,000
付随事業・収益事業収入	51,800,000	46,361,135	5,438,865
補助活動事業収入	42,300,000	38,938,529	3,361,471
付帯事業収入	2,500,000	2,632,726	,
教材料収入	3,500,000	2,163,335	1,336,665
業務受託収入	0	216,000	
収益事業収入	3,500,000	2,410,545	, ,
受取利息·配当金収入	110,000	108,474	1,526
その他の受取利息・配当金収入	110,000	108,474	1,526
維収入	43,914,000	46,766,326	△ 2,852,326
施設設備利用料収入	17,360,000	20,847,452	△ 3,487,452
過年度修正収入	0	100,000	
研究関連収入	1,554,000	1,914,000	△ 360,000
その他の雑収入	25,000,000	23,904,874	1,095,126
借入金等収入	0	0	(
前受金収入	1,210,585,000	1,200,088,670	10,496,330
授業料前受金収入	746,075,000	733,515,670	12,559,330
入学金前受金収入	124,150,000	112,910,000	11,240,000
実験実習料前受金収入	118,940,000	117,403,000	1,537,000
施設設備資金前受金収入	221,420,000	230,635,000	△ 9,215,000
	, ,		
特定保育料前受金収入	0	5,510,000	△ 5,510,000
実習費負担金前受金収入	0	25,000	△ 25,000
在籍料前受金収入	0	90,000	△ 90,000
その他の収入	151,157,471	134,846,955	16,310,516
前期末未収入金収入	128,657,471	128,657,471	(
貸付金回収収入	0	524,010	△ 524,010
預り金受入収入	22,500,000	3,195,551	19,304,449
立替金回収収入	0	2,469,923	△ 2,469,923
資金収入調整勘定	△ 1,100,189,500	△ 1,113,996,345	13,806,845
期末未収入金	△ 24,139,000	△ 37,945,845	13,806,845
前期末前受金	△ 1,076,050,500	△ 1,076,050,500	(
前年度繰越支払資金	3,074,205,934	3,074,205,934	(
収入の部合計	6,130,174,405	6,101,171,324	29,003,081

<u>支出の部</u> 科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,227,427,870	1,207,817,184	19,610,686
教員人件費支出	972,008,870	964,811,911	7,196,959
職員人件費支出	241,209,000	230,151,288	11,057,712
役員報酬支出	4,210,000	4,164,685	45,315
退職金支出	10,000,000	8,689,300	1,310,700
教育研究経費支出	490,202,000	455,796,671	34,405,329
消耗品費支出	59,136,000	55,650,636	3,485,364
光熱水費支出	55,179,000	51,349,089	3,829,911
旅費交通費支出	18,614,000	15,838,327	2,775,673
奨学費支出	56,750,000	56,721,250	28,750
福利費支出	20,877,000	19,135,102	1,741,898
通信費支出	6,766,000	5,886,820	879,180
印刷製本費支出	8,643,000	6,656,612	1,986,388
修繕費支出	43,144,000	36,571,958	6,572,042
損害保険料支出	6,749,000	6,477,189	271,811
賃借料支出	6,679,000	5,614,633	1,064,367
報酬委託手数料支出	157,060,000	156,546,151	513,849
保健衛生費支出	1,050,000	627,522	422,478
行事費支出	5,629,000	2,634,591	2,994,409
実習費支出	16,450,000	14,794,600	1,655,400
研修費支出	2,203,000	1,484,762	718,238
教材費支出	7,953,000	4,707,880	3,245,120
給食費支出	17,000,000	14,936,819	2,063,181
雑費支出	320,000	162,730	157,270
管理経費支出	290,743,000	265,994,237	24,748,763
消耗品費支出	24,393,000	20,089,092	4,303,908
光熱水費支出	7,752,000	7,293,028	458,972
旅費交通費支出	6,469,000	5,650,276	818,724
福利費支出	9,770,000	9,018,769	751,231
通信費支出	14,392,000	12,855,740	1,536,260
印刷製本費支出	16,028,000	15,847,053	180,947
修繕費支出	9,127,000	8,128,126	998,874
損害保険料支出	2,465,000	2,038,510	426,490
賃借料支出	11,836,000	10,795,662	1,040,338
公租公課支出	12,228,000	10,931,761	1,296,239
広報費支出	79,010,000	77,645,887	1,364,113
諸会費支出	4,838,000	4,114,240	723,760
補助金返還金支出	200,000	126,400	73,600
涉外費支出	75,000	34,393	40,607
報酬委託手数料支出	80,876,000	72,343,778	8,532,222
負担金支出	45,000	34,000	11,000
実習費支出	550,000	16,000	534,000
研修費支出	424,000	408,686	15,314
教材費支出	1,550,000	713,027	836,973
給食費支出	4,679,000	4,351,018	327,982
車両燃料費支出	830,000	722,835	107,165
<u>華商縣科員久田</u> 雑費支出	3,206,000	2,835,956	370,044
一个点人出 借入金等利息支出	28,143,000	28,057,269	85,731
借入金利息支出	28,143,000	28,057,269	85,731
借入金等返済支出	81,775,000	81,076,402	698,598
借入金返済支出	81,775,000	81,076,402	698,598

支出の部			
科目	予 算	決 算	差 異
施設関係支出	662,875,000	641,671,565	21,203,435
土地支出	608,000,000	607,327,264	672,736
建物支出	28,975,000	11,420,616	17,554,384
構築物支出	1,900,000	429,429	1,470,571
建設仮勘定支出	24,000,000	22,494,256	1,505,744
設備関係支出	44,200,000	18,187,553	26,012,447
教育研究用機器備品支出	30,350,000	10,843,481	19,506,519
管理用機器備品支出	3,900,000	869,832	3,030,168
図書支出	8,850,000	5,748,513	3,101,487
車両支出	600,000	563,619	36,381
ソフトウェア支出	500,000	162,108	337,892
資産運用支出	5,110,000	4,492,425	617,575
出資金支出	100,000	60,000	40,000
預託金支出	10,000	6,790	3,210
収益事業元入金支出	5,000,000	4,425,635	574,365
その他の支出	268,630,411	268,126,765	503,646
前期末未払金支払支出	265,405,461	265,189,937	215,524
前払金支払支出	2,664,950	2,611,342	53,608
仮払金支払支出	500,000	325,486	174,514
その他の固定資産支出	60,000	0	60,000
予備費	(11,110,000)		
1	3,890,000		3,890,000
資金支出調整勘定	△ 133,022,950	△ 147,034,090	14,011,140
期末未払金	△ 131,858,000	△ 145,869,140	14,011,140
前期末前払金	△ 1,164,950	△ 1,164,950	0
翌年度繰越支払資金	3,160,201,074	3,276,985,343	△ 116,784,269
支出の部合計	6,130,174,405	6,101,171,324	29,003,081

注 記 予備費の使用内訳

科目	金額
資産運用支出	5,110,000
出資金支出	100,000
預託金支出	10,000
収益事業元入金支出	5,000,000
その他の支出	6,000,000
前期末未払金支払支出	4,000,000
前払金支払支出	1,500,000
仮払金支払支出	500,000
合計	11,110,000

活動区分資金収支計算書

平成29年 4月 1日から 平成30年 3月31日まで

		科 目	金額
		学生生徒等納付金収入	2,074,756,435
	-	手数料収入	52,377,840
		特別寄付金収入	100,000,000
教育	収入	一般寄付金収入	65,000,000
育活		経常費等補助金収入	212,907,900
動		付随事業収入	43,950,590
に	-	雑収入	46,666,326
よ	-	教育活動資金収入計	2,595,659,091
る資		人件費支出	1,207,817,184
金	支	教育研究経費支出	
収支	出出	 	455,796,671
支			265,994,237
	l.	教育活動資金支出計	1,929,608,092
		差引	666,050,999
	松太江	調整勘定等	107,318,356
施	教育品	f動資金収支差額 	773,369,355
設		科 目	金 額
整備	収	施設設備寄付金収入	205,380,000
等	入	施設設備売却収入	2,368,000
活		施設整備等活動資金収入計	207,748,000
動に	支	施設関係支出	641,671,565
ょ	出	設備関係支出	18,187,553
る資	l.	施設整備等活動資金支出計	659,859,118
金金		差引	△ 452,111,118
収	17n	調整勘定等	△ 13,335,749
支	施設型	修備等活動資金収支差額	
	= اد		△ 465,446,867
	小詞	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	307,922,488
	小詞	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目	307,922,488 金 額
	小	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入	307,922,488 金 額 524,010
	小!	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551
		計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923
そ	収	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484
その		計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入	307,922,488 金額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474
の他	収	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474
の 他 の	収	計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息·配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545
の他の活	収	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503
の他の活動に	収	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402
の他の活動によ	収	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486
の他の活動によ	収入	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790
の他の活動による資金	収入支	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000
の他の活動による資金収	収入	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出 収益事業元入金支出	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635
の他の活動による資金	収入支	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 収益事業元入金支出 収益事業元入金支出 小計	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635 85,894,313
の他の活動による資金収	収入支	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出 収益事業元入金支出 収益事業元入金支出 小計 借入金等利息支出	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635 85,894,313 28,057,269
の他の活動による資金収	収入支	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出 収益事業元入金支出 小計 借入金等利息支出 その他の活動資金支出計	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635 85,894,313 28,057,269 113,951,582
の他の活動による資金収	収入支	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出 収益事業元入金支出 小計 借入金等利息支出 その他の活動資金支出計 差引	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635 85,894,313 28,057,269 113,951,582
の他の活動による資金収	収入支出	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預り金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出 収益事業元入金支出 小計 借入金等利息支出 その他の活動資金支出計 差引 調整勘定等	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635 85,894,313 28,057,269 113,951,582 △ 105,143,079
の他の活動による資金収	収入支出	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預9金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出 収益事業元入金支出 小計 借入金等利息支出 その他の活動資金支出計 差引 調整勘定等	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635 85,894,313 28,057,269 113,951,582 △ 105,143,079
の他の活動による資金収	収入支出	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預9金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出 収益事業元入金支出 収益事業元入金支出 小計 借入金等利息支出 その他の活動資金支出計 差引 調整勘定等 即の活動資金収支差額 支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635 85,894,313 28,057,269 113,951,582 △ 105,143,079 ○ △ 105,143,079 202,779,409
の他の活動による資金収	収入支出	計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) 科 目 貸付金回収収入 預9金受入収入 立替金回収収入 小計 受取利息・配当金収入 過年度修正収入 収益事業収入 その他の活動資金収入計 借入金等返済支出 仮払金支払支出 預託金支出 出資金支出 収益事業元入金支出 小計 借入金等利息支出 その他の活動資金支出計 差引 調整勘定等	307,922,488 金 額 524,010 3,195,551 2,469,923 6,189,484 108,474 100,000 2,410,545 8,808,503 81,076,402 325,486 6,790 60,000 4,425,635 85,894,313 28,057,269 113,951,582 △ 105,143,079

				(十四:11)
項目	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設整備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支
前受金収入	1,200,088,670	1,200,088,670	0	0
前期末未収入金収入	128,657,471	26,280,471	102,377,000	0
期末未収入金	△ 37,945,845	△ 37,945,845	0	0
前期末前受金	△ 1,076,050,500	△ 1,076,050,500	0	0
収入計	214,749,796	112,372,796	102,377,000	0
前期末未払金支払支出	265,189,937	124,370,897	140,819,040	0
前払金支払支出	2,611,342	2,611,342	0	0
期末未払金	△ 145,869,140	△ 120,762,849	△ 25,106,291	0
前期末前払金	△ 1,164,950	△ 1,164,950	0	0
支出計	120,767,189	5,054,440	115,712,749	0
収入計-支出計	93,982,607	107,318,356	$\triangle 13,335,749$	0

事業活動収支計算書

平成29年 4月 1日から 平成30年 3月31日まで

	科目	予 算	決 算	差異
	学生生徒等納付金	2,070,984,500	2,074,756,435	△ 3,771,935
	授業料	1,300,280,000	1,301,401,670	△ 1,121,670
	入学金	142,050,000	136,710,000	5,340,000
	実験実習料	171,685,000	171,685,000	(
	施設設備資金	393,757,500	392,757,500	1,000,000
	暖房費	603,000	621,000	△ 18,00
	諸費	1,300,000	57,230	1,242,77
	基本保育料	37,200,000	40,232,035	△ 3,032,03
	特定保育料	0	7,190,000	△ 7,190,00
	在籍料	1,080,000	1,110,000	△ 30,00
	付属教育事業収入	23,029,000	22,992,000	37,00
	手数料	48,332,000	52,377,840	△ 4,045,84
	入学検定料	37,294,000	39,856,000	△ 2,562,00
事	試験料	9,925,000	11,208,000	△ 1,283,000
業活	証明手数料	713,000	913,840	△ 200,84
動	実習費負担金	400,000	400,000	
収	寄付金	369,630,000	165,276,228	204,353,77
入	特別寄付金	304,380,000	100,000,000	204,380,00
\mathcal{O}	一般寄付金	65,000,000	65,000,000	
部	現物寄付	250,000	276,228	△ 26,22
	経常費等補助金	207,595,000	212,907,900	△ 5,312,90
	都道府県補助金	86,546,000	87,141,057	△ 595,05
	市町村補助金	1,049,000	1,045,253	3,74
	施設型給付費補助金	120,000,000	124,721,590	△ 4,721,59
	付随事業収入	48,300,000	43,950,590	4,349,41
	補助活動事業収入	42,300,000	38,938,529	3,361,47
	付帯事業収入	2,500,000	2,632,726	△ 132,72
	教材料	3,500,000	2,163,335	1,336,66
	受託業務	0	216,000	△ 216,00
	雑収入	43,914,000	46,744,885	△ 2,830,88
	施設設備利用料	17,360,000	20,847,452	△ 3,487,45
	研究関連	1,554,000	1,914,000	△ 360,00
1	その他の雑収入	25,000,000	23,983,433	1,016,56
1	教育活動収入計	2,788,755,500	2,596,013,878	192,741,62

科 予 差 目 算 決 算 異 1,244,427,870 人件費 1,216,953,084 27,474,786 教員人件費 972,008,870 964,811,911 7,196,959 職員人件費 241,209,000 230,151,288 11,057,712 役員報酬 4,210,000 45,315 4,164,685 7,959,800 退職金 10,000,000 2,040,200 退職給与引当金繰入額 17,000,000 15,785,000 1,215,000 教 716,639,669 教育研究経費 753,232,000 36,592,331 育 消耗品費 55,926,864 3,809,136 59,736,000 活 光熱水費 3,829,911 55,179,000 51,349,089 動 旅費交通費 2,775,673 18,614,000 15,838,327 収 28,750 奨学費 56,750,000 56,721,250 卆 福利費 20,877,000 19,135,102 1,741,898 通信費 5,886,820 879,180 6,766,000 印刷製本費 6,656,612 1,986,388 8,643,000 6,572,042 修繕費 43,144,000 36,571,958 損害保険料 6,749,000 6,477,189 271,811 賃借料 6,679,000 5,614,633 ,064,367 報酬委託手数料 156,960,000 156,546,151 413,849 保健衛生費 627,522 422,478 1,050,000 262,430,000 減価償却額 260,393,624 2,036,376 2,994,409 行事費 5,629,000 2,634,591 実習費 16,450,000 14,794,600 1,655,400 事 研修費 2,203,000 1,484,762 718,238 業 教材費 7,953,000 4,707,880 3,245,120 活 2,063,181 給食費 17,000,000 14,936,819 動 雑費 420,000 335,876 84,124 支 管理経費 321,312,000 294,034,188 27,277,812 出 20,089,092 の 消耗品費 25,093,000 5,003,908 部 光熱水費 7,752,000 7,293,028 458,972 旅費交通費 6,469,000 5,650,276 818,724 福利費 9,770,000 9,018,769 751,231 14,392,000 1,536,260 通信費 12,855,740 印刷製本費 16,028,000 180,947 15,847,053 修繕費 9,127,000 8.128.126 998.874 2,038,510 損害保険料 2,465,000 426,490 賃借料 11,836,000 10,795,662 1,040,338 1,296,239 12,228,000 公租公課 10,931,761 広報費 77,645,887 79,010,000 1,364,113 723,760 諸会費 4,838,000 4,114,240 補助金返還金 200,000 126,400 73,600 渉外費 75,000 34,393 40,607 報酬委託手数料 80,876,000 72,343,778 8,532,222 負担金 45,000 34,000 11,000 減価償却額 29,869,000 28,039,951 1,829,049 実習費 550,000 16,000 534,000 研修費 424,000 408,686 15,314 教材費 1,550,000 713,027 836,973 給食費 327,982 4,679,000 4,351,018 車両燃料費 830,000 722,835 107,165 雑費 3,206,000 2,835,956 370,044 徴収不能額等 0 0 0 教育活動支出計 2,318,971,870 2,227,626,941 91,344,929 教育活動収支差額 469,783,630 368,386,937 101,396,693

教育に	事業活動	科目	予	算	決 算	差 異
		受取利息•配当金		110,000	108,474	1,526
		その他の受取利息・配当金		110,000	108,474	1,526
	収	その他の教育活動外収入		3,500,000	2,410,545	1,089,455
	入の	収益事業収入		3,500,000	2,410,545	1,089,455
活動	部	教育活動外収入計		3,610,000	2,519,019	1,090,981
外	事業	科目	予	算	決 算	差 異
収	活	借入金等利息		28,143,000	28,057,269	85,731
支	動支	借入金利息		28,143,000	28,057,269	85,731
	出	その他の教育活動外支出		0	0	0
	の部	教育活動外支出計		28,143,000	28,057,269	85,731
	教育活動外収支差額			△ 24,533,000	$\triangle 25,538,250$	1,005,250
経常収支差額				445,250,630	342,848,687	102,401,943
	事科目		予	算	決 算	差 異
	業	資産売却差額		1,800,000	2,368,000	△ 568,000
	活	資産売却差額		1,800,000	2,368,000	△ 568,000
	動	その他の特別収入		8,100,000	209,124,056	△ 201,024,056
	収	現物寄付		8,000,000	3,644,056	4,355,944
	入	施設設備寄附金		0	205,380,000	△ 205,380,000
	(T)	過年度修正額		100,000	100,000	0
d-t-	部	特別収入計		9,900,000	211,492,056	$\triangle 201,592,056$
特別		科目	予	算	決 算	差 異
収	事業	資産処分差額		4,600,000	3,934,785	665,215
支		土地除却差額		600,000	591,064	8,936
^	活	建物除却差額		1,800,000	1,776,936	23,064
	動支出	教育研究用機器備品除却差額		1,100,000	1,069,999	30,001
		管理用機器備品除却差額		200,000	129,533	70,467
		図書除却差額		800,000	367,251	432,749
	の部	車両除却差額		100,000	2	99,998
	引)	その他の特別支出		0	0	0
		特別支出計		4,600,000	3,934,785	665,215
特別収支差額				5,300,000	207,557,271	$\triangle 202,257,271$
[予備	# 書]			(2,800,000)		
				12,200,000		12,200,000
基本	金組	入前当年度収支差額		438,350,630	550,405,958	△ 112,055,328
基本金組入額合計			Δ	777,794,000	△ 832,308,395	54,514,395
当年度収支差額				∆ 339,443,370	△ 281,902,437	△ 57,540,933
前年	前年度繰越収支差額			18,216,426	△ 317,455,804	335,672,230
基本金取崩額				0	0	0
翌年度繰越収支差額				321,226,944	△ 599,358,241	278,131,297
(参え						
事業活動収入計				2,802,265,500	2,810,024,953	△ 7,759,453
事業活動支出計				2,363,914,870	2,259,618,995	104,295,875

注 記 予備費の使用内訳

科目	金額
資産処分差額	2,800,000
土地除却差額	600,000
教育研究用機器備品除却差額	1,100,000
管理用機器備品除却差額	200,000
図書除却差額	800,000
車両除却差額	100,000
合計	2,800,000

様式第6号その1(第11条関係)

財産目録その他の最近における財産の状況を知ることができる書類

財 産 目 録

(平成30年 3月31日現在)

 I 資産総額
 金 11,696,065,985
 円

 内 1 基本財産
 金 8,004,415,692
 円

 2 運用財産
 金 3,691,650,293
 円

[収益事業用財産 金 87,455,794 円]

Ⅱ 負債総額 金 2,933,935,800 円

[収益事業用負債 金 378,943,610 円]

Ⅲ 正味財産 金 8,762,130,185 円

財産目録

平成 30 年 3 月 31 日

	区分	金額				
資産額						
1	基本財産	8,004,416				
	土地	1,941,317				
	建物	5,431,820				
	構築物	160,514				
	教具・校具・備品	303,505				
	その他の基本財産	167,260				
2	運用財産	3,691,650				
	現金預金	3,276,985				
	その他の運用財産	414,665				
(3	収益事業財産)	87,456				
	資産総額	11,696,066				
負債額						
1	固定負債	1,444,028				
2	流動負債	1,489,908				
(3	収益事業負債)	378,944				
	負債総額	2,933,936				
	正味財産	8,762,130				

監査報告書

平成30年 5月22日

学校法人 湘南ふれあい学園 理事会 御中

学校法人 湘南ふれあい学園

監事 金井 清吉

監事 竹俣 耕

私たちは、学校法人湘南ふれあい学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校 法人湘南ふれあい学園寄附行為第 8 条第 2 項に基づいて同学園の平成 29 年度(平成 29 年 4月1日から平成 30 年 3 月 31 日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、 事業活動収支計算書、貸借対照表)を含め、学校法人湘南ふれあい学園の業務並びに財産 の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を 聴取し、重要な決算書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手段を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上

監査報告書

平成30年 5月22日

学校法人 湘南ふれあい学園 評議員会 御中

学校法人 湘南ふれあい学園

監事金井清吉

監事竹俣耕

私たちは、学校法人湘南ふれあい学園の監事として、私立学校法第37条第3項及び学校法人湘南ふれあい学園寄附行為第8条第2項に基づいて同学園の平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表)を含め、学校法人湘南ふれあい学園の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を 聴取し、重要な決算書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手段を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上